




Dell™ S500/S500wi プロジェクタ

取扱説明書

メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、コンピュータの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。
-  **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
© 2010 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL ロゴは Dell Inc. の商標です。DLP および DLP ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル S500/S500wi

2010年12月改訂 A00

目次

1	プロジェクタについて.....	7
	プロジェクタについて	9
	対話型ペンについて (S500wi 専用)	10
2	プロジェクタの接続.....	12
	オプションのワイヤレスドングルの取り付け ..	13
	ケーブルカバーの取り付け	14
	コンピュータへの接続.....	15
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	15
	VGA ケーブルを使用してループする一接続を モニターしてください.....	16
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	17
	USB ケーブルでコンピュータに接続する.....	18
	ワイヤレスを使ったコンピュータの接続.....	19
	DVD プレーヤーの接続.....	20
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤー の接続	20
	コンジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続.....	21
	コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続.....	22
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤー の接続	23
	LAN (構内通信網) への接続	24

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通して ネットワークに接続されたプロジェクタを 制御します	24
プロフェッショナル向け取り付けオプション： ドライビング自動スクリーンの取り付け	25
商用 RS232 コントロールボックスの接続	26
対話型ペンへの接続 (S500wi 専用)	27
3 プロジェクタの使用方法	29
プロジェクタの電源を入れる	29
プロジェクタの電源を切る	29
投影画像の調整	30
プロジェクタの高さを上げる	30
プロジェクタの高さを下げる	30
プロジェクタのフォーカス調整	31
プロジェクタのミラープロセスの クリーニング	31
投影画像サイズの調整	32
コントロールパネルの使用方法	34
リモコンの使用方法	36
対話型ペンの使用 (S500wi 専用)	39
OSD 警告メッセージ - バッテリ残量残り僅か...	40
OSD 警告メッセージ - 範囲外	40
ボタンの組み合わせ	40
リストストラップの使用 (S500wi 専用)	42
リモートコントロールバッテリーの取り付け	43

対話型ペンバッテリーの充電 (S500wi 専用)	44
ドッキングチャージャーの概要 (オプション、S500wi 専用)	45
ドッキングチャージャーによる対話型ペンバッテリー の充電	47
リモコンの動作範囲	49
対話型ペンの捜査範囲 (S500wi 専用)	50
オンスクリーンディスプレイの使用方法	51
入力ソース	51
自動調整	52
輝度 / 明度差	53
ビデオモード	53
ボリューム	54
オーディオ入力	54
アドバンス	54
言語	72
ヘルプ	73
ワイヤレスネットワーキングのインストール	74
プロジェクトのワイヤレスを有効にする	75
コンピュータにワイヤレスアプリケーション ソフトウェアをインストールする	76
S500 または S500wi ワイヤレスアプリケーショ ンソフトウェア	79
Presentation to Go (PtG) のインストール	83
PtG ビューア	84
写真ビューア	84
PtG/ 写真機能の概要	85
PtG 概要	85
写真概要	86

	ボタンの概要	86
	PtG Converter - Lite のセットアップ	87
	PtG Converter - Lite アプリケーション ソフトウェア	87
	Web 管理からプロジェクトの管理	89
	ネットワーク設定の設定	89
	Web 管理にアクセスする	89
	アプリケーショントークンの作成	108
4	プロジェクトのトラブルシューティング	109
	対話型ペンのトラブルシューティング	113
	ガイド信号	115
	対話型ペン LED 誘導信号	116
	ランプの交換	117
5	仕様	119
6	Dell へのお問い合わせ	126
	eInstruction へのお問い合わせ	127
7	付録：用語集	128

プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

S500/S500wi 同梱されているもの

電源ケーブル



1.8 m VGA ケーブル (VGA - VGA)



単 4 電池 (2)



リモコン



CD ユーザーガイドおよびドキュメント ケーブルカバー



USB ケーブル (USB-A - USB-B)



S500wi 同梱されているもののみ専用

対話型ペン



リストストラップ



ニブ



Interwrite Workspace CD



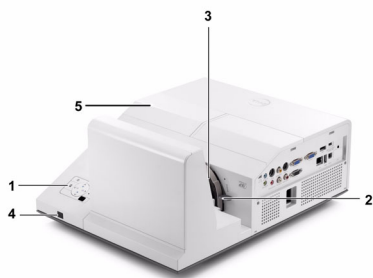
2 m ミニ USB ケーブル (USB-A - ミニ USB-B)



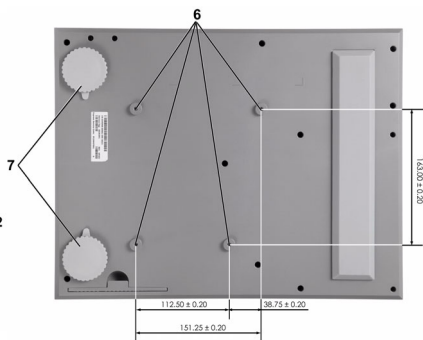
5 m ミニ USB ケーブル (USB-A - ミニ USB-B)



プロジェクタについて 上方図



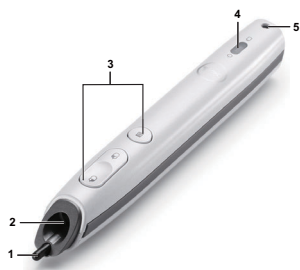
底面図



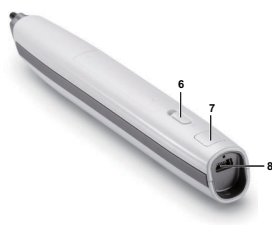
1	コントロールパネル
2	フォーカスタブ
3	レンズ
4	IR レシーバ
5	ランプカバー
6	取付ホール（壁掛け用）ねじ穴 M4 x 10 mm 深度。推奨トルク <10 kgf-cm
7	傾斜調整ホイール

対話型ペンについて (S500wi 専用)

上方図



底面図



1	交換用ニブ
2	レンズ
3	コントロールパネル
4	LED インジケータ
5	リストストラップホルダ
6	電源スイッチ
7	ファームウェアアップグレードコネクタ
8	ミニ USB 充電コネクタ

△ 注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発生するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。

9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

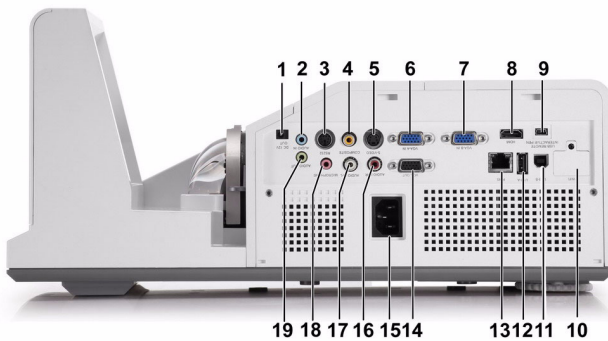
11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。



メモ：


- お客様自身でこのプロジェクタの壁掛けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ壁掛け (P/N: N4MYM). 詳細については、Dell サポート Web サイト (support.dell.com) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する *安全情報* を参照してください。
- S500/S500wi プロジェクタは室内専用です。

プロジェクタの接続




1	+12 V DC アウトコネクタ	11	USB ディスプレイ用 UDB タイプ B コネクタ
2	オーディオ -A 入力コネクタ	12	USB ビューア用 UDB タイプ A コネクタ
3	RS232 コネクタ	13	RJ45 コネクタ
4	コンポジットビデオコネクタ	14	VGA-A 出力 (モニターループスルー) コネクタ
5	S ビデオコネクタ	15	電源コードコネクタ
6	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ	16	オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ
7	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ	17	オーディオ -B 左チャンネル入力コネクタ
8	HDMI コネクタ	18	マイクコネクタ
9	ミニ USB (Mini Type B) コネクタ (リモートマウス、対話機能およびファームウェアアップデート用)	19	オーディオ出力コネクタ
10	WiFi USB (タイプ A) コネクタ		

 **メモ**：S500 と S500wi コネクタは同じです。

 **注意**：この章で説明する交換処理の前に、ページ 10 にある「安全上のご注意」をお読みください。

オプションのワイヤレスドングルの取り付け

ワイヤレスネットワークオプションを使用する場合、プロジェクトにワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。74 ページの「ワイヤレスネットワーキングのインストール」を参照してください。ワイヤレスドングルは S500 プロジェクトに付属していません。Dell Web サイト www.dell.com でご購入いただけます。

 **メモ**：S500wi に埋め込まれたワイヤレスドングル。

- 1 ワイヤレスカバーのネジを抜いて取り外します。



- 2 ワイヤレスドングルを差し込みます。



- 3 ワイヤレスカバーを取り付けます。



ケーブルカバーの取り付け

プロジェクタにはケーブルカバーが付いています。ケーブルカバーはプロジェクタのボックスに入っています。

次のステップに従ってケーブルカバーとプロジェクタを組み立てます。

- 1 プロジェクタのボックスでケーブルカバーを探します。

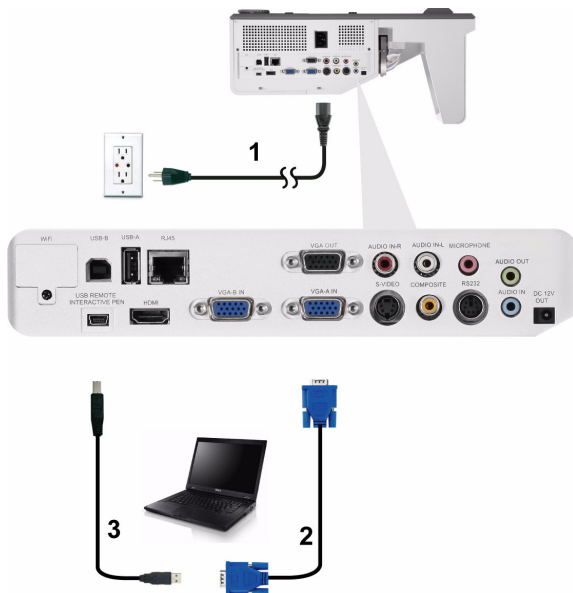


- 2 ケーブルカバーをプロジェクタの右側に取り付けます。



コンピュータへの接続

VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続

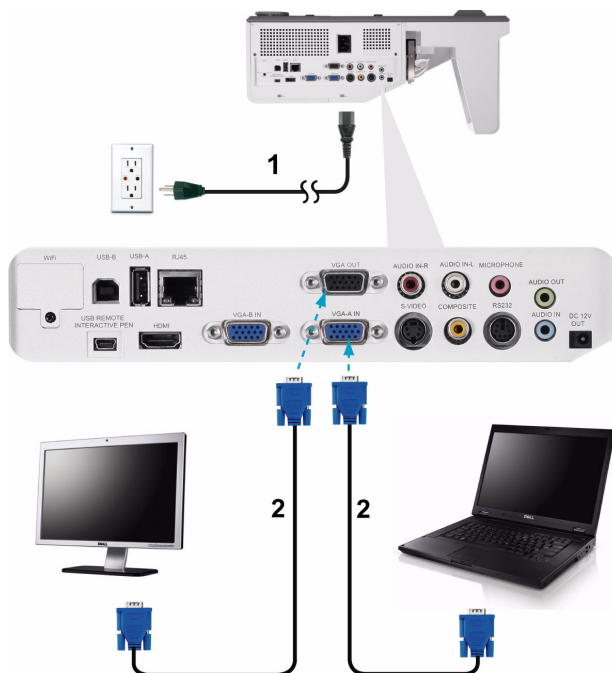


1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - ミニ USB-B ケーブル



メモ: リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル



メモ: プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続

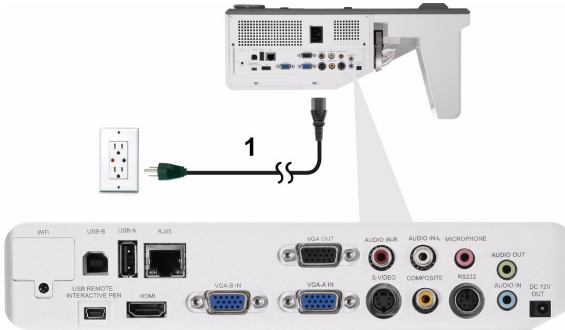


1	電源コード
2	RS232 ケーブル



メモ : RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

USB ケーブルでコンピュータに接続する



1	電源コード
2	USB-A - USB-B ケーブル



メモ: プラグアンドプレイ プロジェクタには USB ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の USB ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

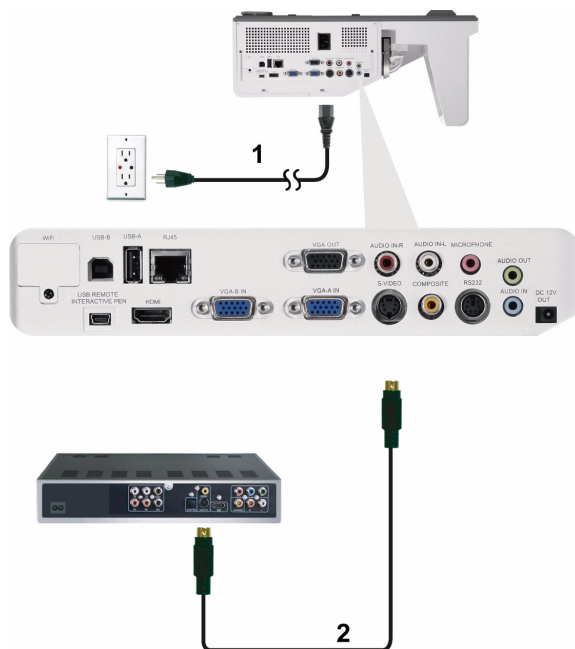
ワイヤレスを使ったコンピュータの接続



- **メモ**：別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスコネクタを装備し適切に設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
- **メモ**：ワイヤレスネットワークを使用する場合、プロジェクタにワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。74 ページの「ワイヤレスネットワーキングのインストール」を参照してください。

DVD プレーヤーの接続

S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

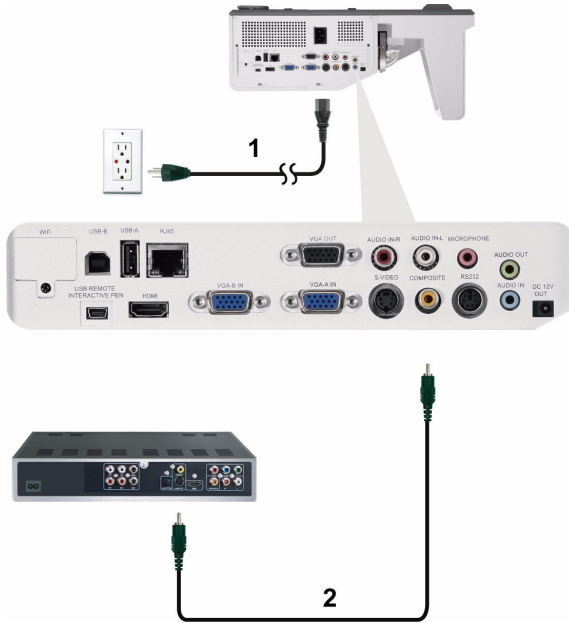


1	電源コード
2	S ビデオケーブル



メモ: S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) で S ビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

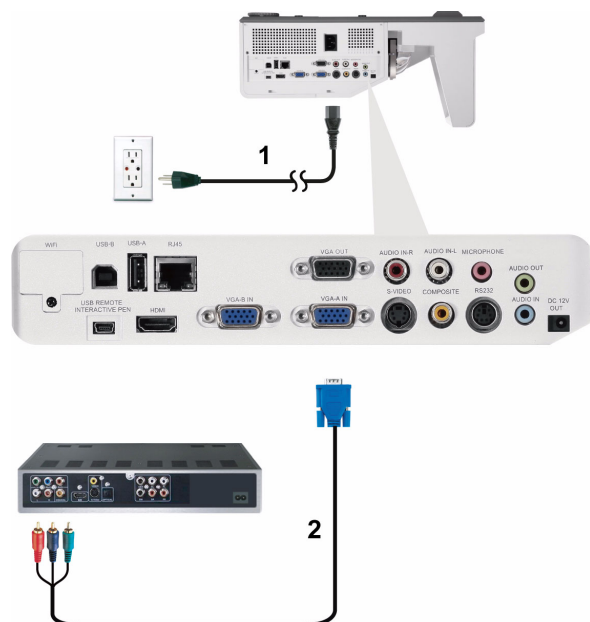


1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル



メモ：コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) でコンポジットビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

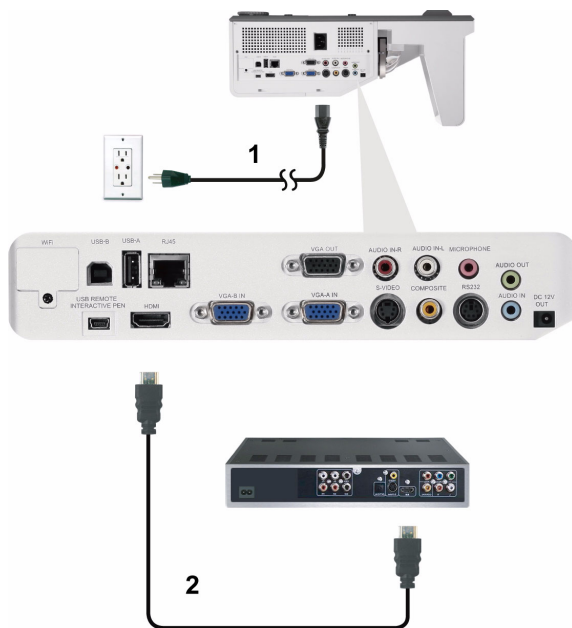


1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル



メモ : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) で VGA - コンポーネントビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



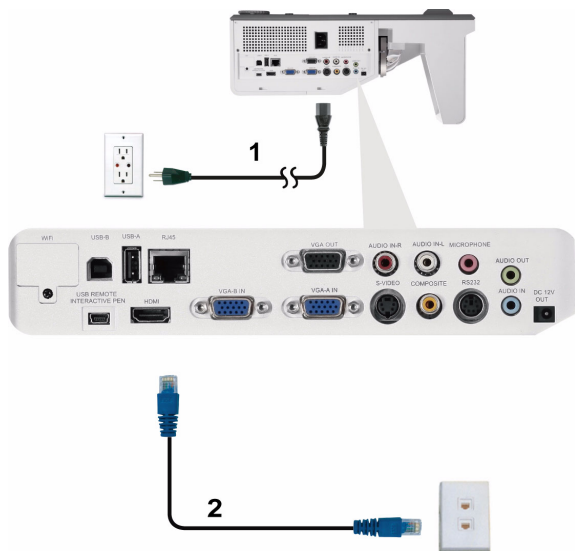
1	電源コード
2	HDMI ケーブル



メモ: HDMI ケーブルは付属していません。Dell Website www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

LAN (構内通信網) への接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御します。



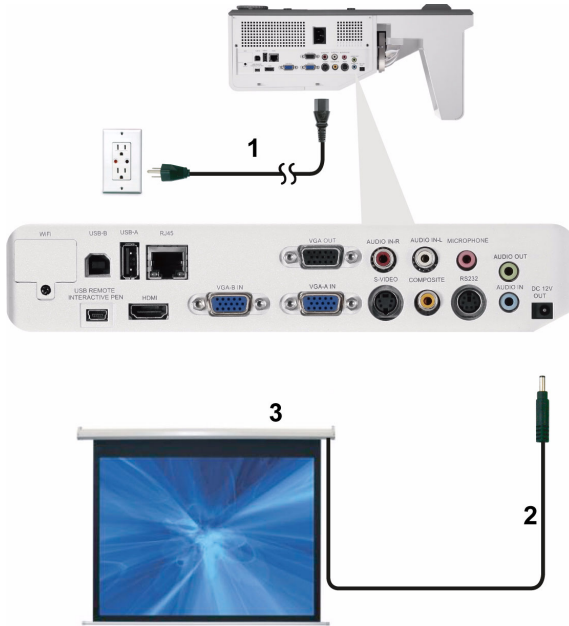
LAN (構内通信網)

1	電源コード
2	RJ45 ケーブル



メモ : RJ45 ケーブルは付属していません。Dell Website www.dell.com で RJ45 ケーブルをご購入いただけます。

プロフェッショナル向け取り付けオプション：ドライビング 自動スクリーンの取り付け



1	電源コード
2	12 V DC プラグ
3	自動スクリーン

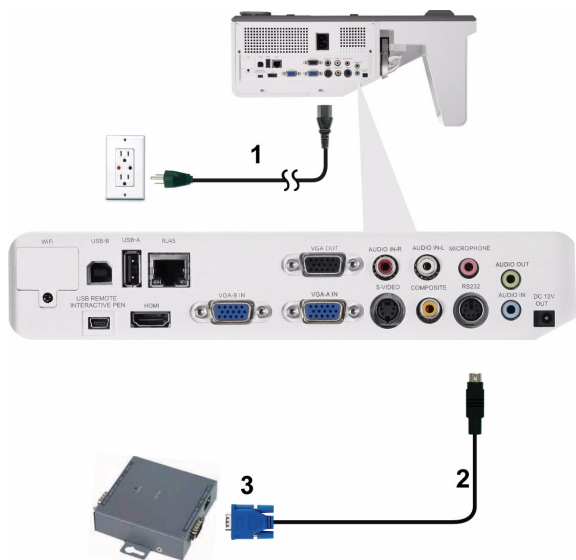


メモ：1.7 mm (ID) x 4.00 mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12 V DC プラグインを使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。

12 V DC プラグ



商用 RS232 コントロールボックスの接続



1	電源コード
2	RS232 ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス



メモ：RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。

対話型ペンへの接続 (S500wi 専用)



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - ミニ USB-B ケーブル
4	12 V DC プラグ
5	電動式投影画面
6	対話型ペン




メモ:

- 1 双方向性は次の入力モードでのみサポートされます: PC から VGA と HDMI、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、LAN ディスプレイ
- 2 対話型ペンを有効にするには、コンピュータとプロジェクタの間に 2 番目の接続が必要となります。コンピュータとプロジェクタ接続の間で、次の 3 つのオプションを利用できます:
 - a ミニ USB ケーブルの使用
 - b LAN ケーブルの使用 (Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのインストールに必要)
 - c WLAN の使用 (Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのインストールに必要)LAN または WLAN 接続を使用している場合、まずワイヤレス/LAN がオンになっていることを確認してください。
- 3 自動スクリーンはオプションです。
- 4 デスクトップ PC/ ノート PC およびプロジェクタの距離が 5 メートル以上ある場合、インストールに USB ハブをお使いになるようにお勧めします。


プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、ページ 12 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 2 電源ボタンを押します（電源ボタンの場所については、ページ 34 の「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。
- 3 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 4 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、ページ 12 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 5 デフォルトで、入力ソースは VGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 6 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、ページ 34 の「コントロールパネルの使用方法」とページ 36 の「リモコンの使用方法」を参照してください。

プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします」メッセージが画面に表示されます。メッセージが 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンを再び押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。

3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを1秒間押し続けます。

メモ: プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

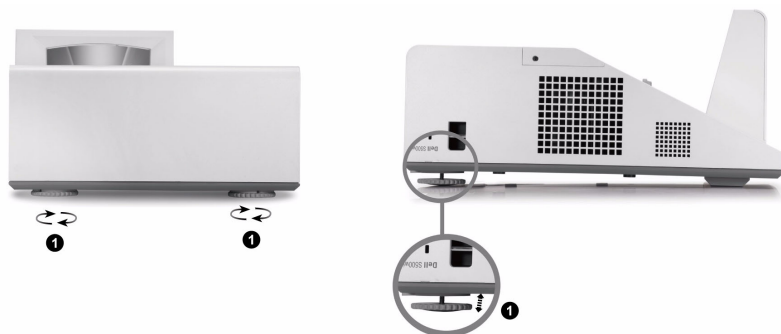
投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

1 プロジェクタを任意の高さまで上げ、2つの傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

1 プロジェクタを下げ、2つの傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。



1	傾斜調整ホイール (傾きの角度: -3 ~ 0.6 度)
---	------------------------------

プロジェクタのフォーカス調整

1 画像が鮮明になるまでフォーカスタブを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 0.489 m ~ 0.655 m ± 0.6 mm です。



1	フォーカスタブ
---	---------

プロジェクタのミラープロセスのクリーニング

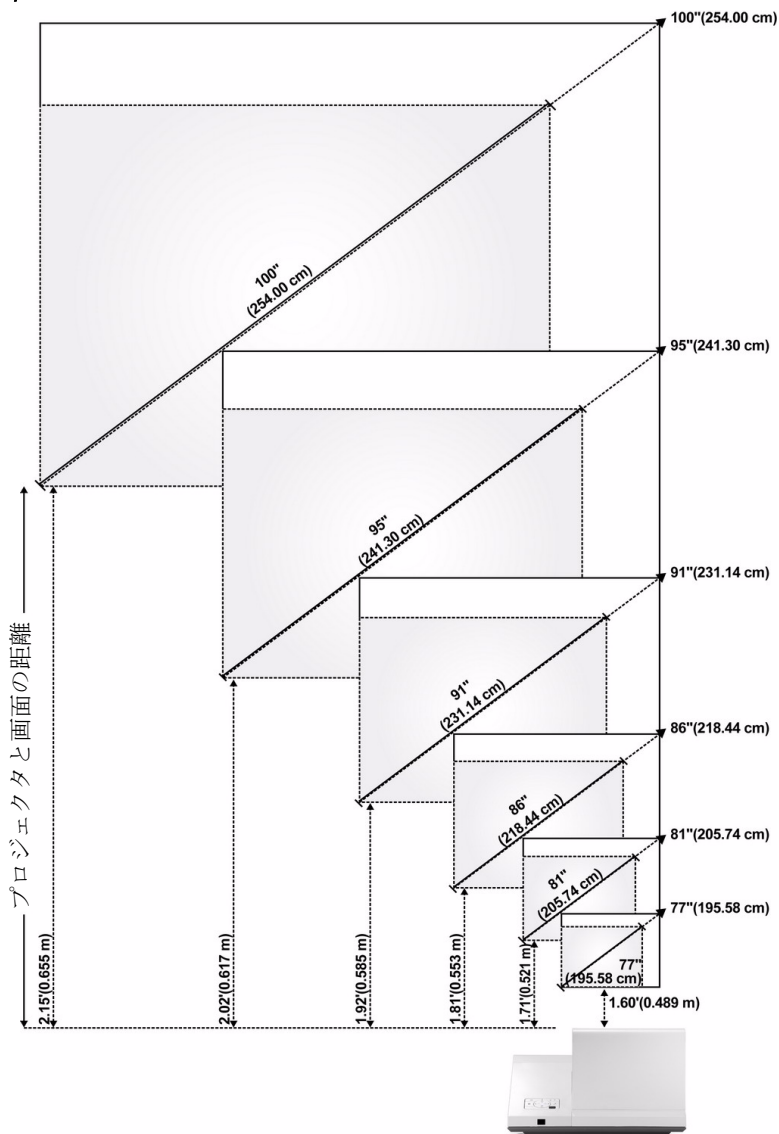
- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 送風機バルブを使用してミラーのほこりを吹き飛ばすか、マイクロファイバー洗浄クロスを使用してミラーをそっと拭きます。ミラーの表面をごしごしこすらないでください。ミラーに傷が付く恐れがあります。

△ 注意: プロジェクタに直接クリーナーや溶剤をスプレーしないでください。

⚠ 警告: 壁掛け式のプロジェクタをクリーニングすると、落ちて負傷する結果をもたらす原因となります。壁掛けブラケットからプロジェクタを取り外し、プロジェクタのミラーを洗浄することができます。

投影画像サイズの調整

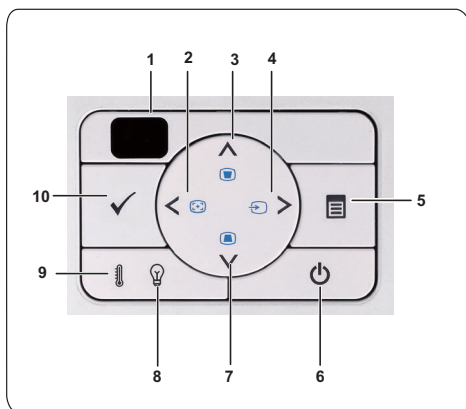
S500/S500wi









S500/S500wi

画面 (対角線)	最大	77" (195.58 cm)	81" (205.74 cm)	86" (218.44 cm)	91" (231.14 cm)	95" (241.30 cm)	100" (254.00 cm)
	最小	77" (195.58 cm)	81" (205.74 cm)	86" (218.44 cm)	91" (231.14 cm)	95" (241.30 cm)	100" (254.00 cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高さ)	64.17" X 40.16"	68.50" X 42.91"	72.44" X 45.28"	76.77" X 48.03"	81.10" X 50.79"	85.83" X 53.54"
		(163 cm X 102 cm)	(174 cm X 109 cm)	(184 cm X 115 cm)	(195 cm X 122 cm)	(206 cm X 129 cm)	(218 cm X 136 cm)
	最小 (幅 x 高さ)	64.17" X 40.16"	68.50" X 42.91"	72.44" X 45.28"	76.77" X 48.03"	81.10" X 50.79"	85.83" X 53.54"
		(163 cm X 102 cm)	(174 cm X 109 cm)	(184 cm X 115 cm)	(195 cm X 122 cm)	(206 cm X 129 cm)	(218 cm X 136 cm)
Hd	最大	50.00" (127 cm)	53.54" (136 cm)	56.69" (144 cm)	59.84" (152 cm)	63.39" (161 cm)	67.32" (171 cm)
	最小	50.00" (127 cm)	53.54" (136 cm)	56.69" (144 cm)	59.84" (152 cm)	63.39" (161 cm)	67.32" (171 cm)
投影距離		1.60' (0.489 m)	1.71' (0.521 m)	1.81' (0.553 m)	1.92' (0.585 m)	2.02' (0.617 m)	2.15' (0.655 m)
* この表はユーザーの参照用です。							

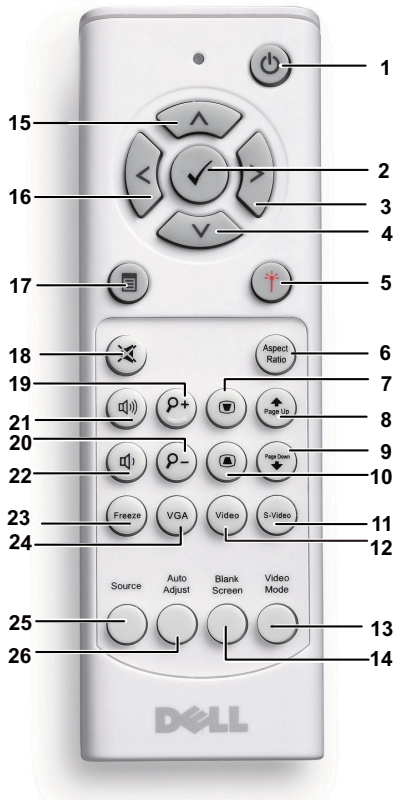
コントロールパネルの使用法












- | | | |
|---|--|--|
| 1 | IR レシーバ | リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。 |
| 2 | 左  / 自動調整 | <p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。</p> <p>メモ: オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、自動調整は作動しません。</p> |
| 3 | 上  / キーストーン調整 | <p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。</p> |
| 4 | 右  / ソース | <p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S-ビデオソースを切り替えます。</p> |







5	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーとメニューボタンで OSD をナビゲートします。
6	電源	プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ 29 の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ 29 の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。
7	ダウン  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	ランプ警告ライト	LAMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われる。 <ul style="list-style-type: none"> • ランプがその耐用年数の終わりに達した • ランプモジュールを適切に取り付けていない • ランプドライバが故障している • カラーホイールが故障している 詳しくは、ページ 109 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 115 の「ガイド信号」を参照してください。
9	温度警告ライト	TEMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われる。 <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタの内部温度が高すぎる • カラーホイールが故障している 詳しくは、ページ 109 の「プロジェクタのトラブルシューティング」およびページ 115 の「ガイド信号」を参照してください。
10	エンター 	このボタンを押して選択項目を確定します。

リモコンの使用方法



- | | |
|--|--|
| 1 電源  | プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ 29 の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ 29 の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。 |
| 2 エンター  | このボタンを押して選択を確定します。 |
| 3 右  | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 |

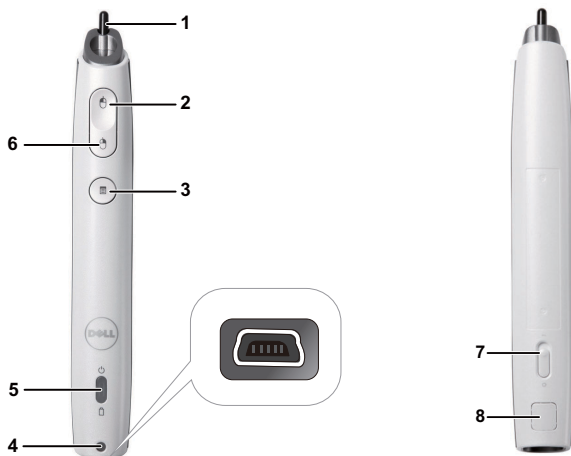
4	ダウン 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押しながらレーザーライトを起動します。 ⚠ 警告：レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けしないでください。
6	縦横比	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
7	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
8	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。 📌 メモ： ページ上機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
9	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。 📌 メモ： ページ下機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
10	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-35 度)。
11	S ビデオ	このボタンを押して S ビデオソースを選択します。
12	ビデオ	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。

13	ビデオモード	<p>プロジェクタには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。</p> <p>ビデオモード ボタンを押して プレゼンテーションモード、明るさモード、"M 画モード、sRGB、またはカスタムモードを切り替えます。</p> <p>ビデオモード ボタンを1回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度ビデオモード ボタンを押すと、モードが切り替わります。</p>
14	何もうつついていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
18	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
19	ズーム +	このボタンを押して画像を上げます。
20	ズーム -	このボタンを押して画像を下げます。
21	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
22	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
23	フリーズ	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止します。「フリーズ」をもう一度押すと再生に戻ります。
24	VGA	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
25	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント（YPbPr、VGA 経由）、HDMI、S-ビデオソースを切り替えます。
26	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。

対話型ペンの使用 (S500wi 専用)

上方図

底面図




1 交換用ニブ

ニブを押して描画または記述を行います。ニブがかみ合っているとき、マウスの左クリックのように機能して描画または記述を行います。

メモ：

- ニブがかみ合っていない場合、ペンは描画モードに切り替わってボタン機能は無効になります。
- ニブが摩耗したら、以下に示すようにニブのヘッドを交換してください。



2	左	このボタンは、マウスの左ボタンのように機能します。
3	機能	使用できる機能は、OSD メニュー「機能を設定」に一覧表示されています (ページ 70 を参照)。  メモ: [機能] ボタンをダブルクリックすると、ソフトウェアでサポートされている場合、[下に戻す] として機能します。
4	ミニ USB 充電コネクタ	ミニ USB ケーブルを使用して充電することができます。ページ 44 の「対話型ペンのバッテリーの充電」を参照してください。
5	LED インジケータ	2 つの LED インジケータ、緑色と黄色を使用できます (「対話型ペン LED 誘導信号」 ページ 116 」を参照) 。
6	右	このボタンは、マウスの右ボタンのように機能します。
7	電源スイッチ	対話型ペンの電源のオン / オフを切り替えます。
8	ファームウェアアップグレードコネクタ	対話型ペンと RF ボードファームウェアアップグレードの場合。

OSD 警告メッセージ - バッテリー残量残り僅か

- バッテリー電圧が 2 V 以下になると、バッテリー低下警告メッセージがポップアップ表示されます。この状態で、ペンは約 1 ~ 2 時間作動できます。
- バッテリー電圧が 1.8 V 以下になると、ペンは無効になります。

OSD 警告メッセージ - 範囲外

以下の状況では、ペンセンサーが範囲外となります：

- ペンがスクリーンを向いていない。
- ペンがスクリーンから離れすぎている。
- プロジェクタの輝度が低すぎて検出できない。

ボタンの組み合わせ

- **右 + 機能 (マスタペンのみ) :** スクリーンに、[スレーブペンの設定機能] メニューが表示されます。

- **左 + 機能**: スクリーンに、[ペン情報]メニューが表示されます。
- **保持機能**: 機能ボタンを2秒間押し下げると、スクリーンに機能メニューが表示されます。左/右を使うと上/下に移動し、機能を使うと入力/適用を使用できます。
- [機能を設定]メニューで [トグル]が選択されているとき、[機能]ボタンを押して通常/描画/安定を選択します。



メモ: 対話型ペンは、Windows マウスのプロパティ機能「第1ボタンと第2ボタンの切り替え」をサポートできません。



メモ: デュアル対話型ペン機能をサポートします。

リストストラップの使用 (S500wi 専用)

リストストラップは対話型ペンを握る力が弱くなったときの安全対策として、対話型ペンやまわりの物体、他人を損傷させないようにするために使用してください。


1 コネクタホルダからリストストラップにコードを通します。



2 手首にリストストラップを付けます。



リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ**：使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。




2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。



 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 バッテリーカバーを元に戻します。






対話型ペンバッテリーの充電 (S500wi 専用)

対話型ペンのオレンジ色のライトが点滅すると、内部バッテリーの残量が少なくなっていることを示します (バッテリーが完全に放電すると、ニブ、左、右、セット機能ボタンを押しても対話型ペンをオンにすることはできません)。

バッテリーを充電するには、対話型ペンとデスクトップ PC またはノート PC をミニ USB ケーブルで接続します (デスクトップまたはノート PC に接続している場合、デスクトップまたはノート PC の電源がオンになっていることを確認してください)。バッテリーの充電中はバッテリーライトがオンになり、バッテリーが完全に充電されるとオフになります。



充電が終了したら、ミニ USB ケーブルを抜くことができます (または、ケーブルを接続したまま、充電注に対話型ペンを使用します)。

-  **メモ:** 始めて使用する場合、バッテリーを完全に充電するには 4 ~ 5 時間以上かかります。完全に充電されたバッテリーは 25 時間の連続使用が可能です。または、スタンバイ状態で 4 週間持ちます。
-  **注意:** リチウムバッテリーは再充電のみが可能で、ユーザーが交換したり修理したりすることはできません。対話型ペンを充電できない場合、Dell にお問い合わせください (ページ 126 の「Dell へのお問い合わせ」を参照)。
-  **注意:** 対話型ペンの充電は、常に付属の USB ケーブルとコンピュータ (または、ドッキングチャージャー) を使用してください。ドッキングチャージャーは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

ドッキングチャージャーの概要（オプション、S500wi 専用）


前面図



背面図



1	電源 LED ライト
2	ミニ USB コネクタ
3	電源スイッチ
4	電源コードコネクタ

 **メモ:** ドッキングチャージャーは付属していません。ドッキングチャージャーは、Dell Web サイト www.dell.com でご購入いただけます。

ドッキング充電器の LED インジケータ

緑の LED 点灯	ドッキング充電器を AC コンセントに差し込むとき、緑の LED が点灯します。
緑の LED オフ	ドッキング充電器のプラグを抜くと、緑の LED がオフになります。

対話型ペンの LED インジケータ

黄色の LED 点灯	充電プロセスの間、黄色の LED が点灯します。
黄色の LED オフ	バッテリーが完全に充電されると、LED はオフになり、「充電完了」を示します。
黄色の LED 点滅	黄色の LED が点滅を開始すると（0.4 秒オン、0.6 秒オフの、1 秒の点滅サイクル）、充電が行われていないことを示します。充電器エラーまたは不良バッテリーが確認されました。

ドッキング充電器の仕様（電力供給）

モデル：	対話型プロジェクタペンの充電ステーション
電力供給：	入力 AC 100-240 V、50-60 Hz、0.2 A 出力 DC 5 V/1 A
最大温度：	40 °C

ドッキングチャージャーによる対話型ペン バッテリーの充電

対話型ペンのオレンジ色のライトが点滅すると、内部バッテリーの残量が少なくなっていることを示します（バッテリーが完全に放電すると、ニブ、左、右、セット機能ボタンを押しても対話型ペンをオンにすることはできません）。

バッテリーを充電するために、次のステップに従ってインストールすることができます：

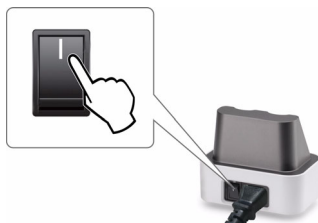
- 1 電源ケーブルをコンセントに接続します。






- 2 対話型ペンをドッキングチャージャーのミニ USB ポートに差し込みます。



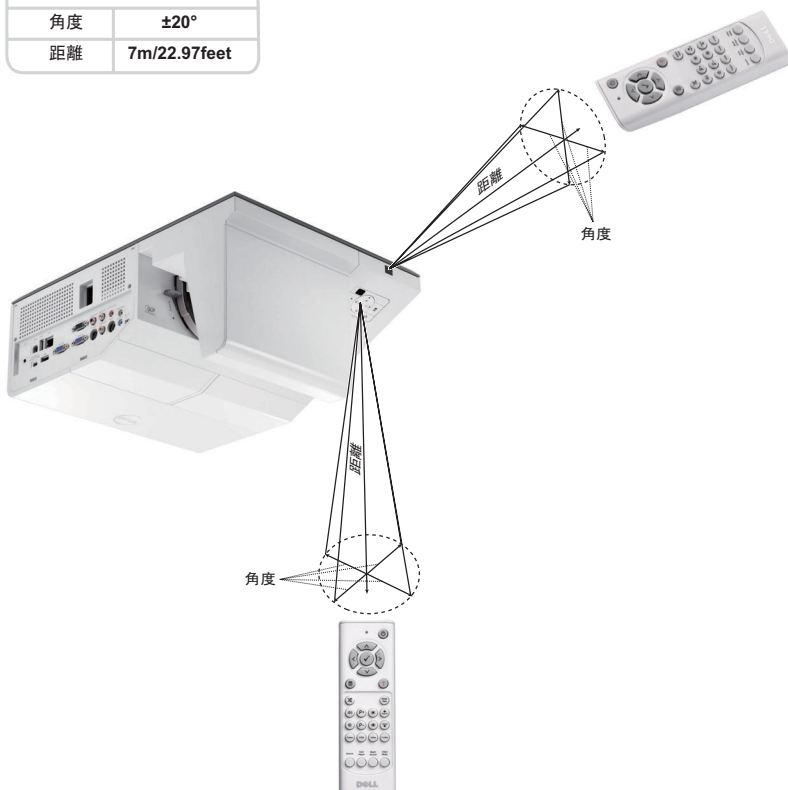
- 3 ドッキングチャージャーの電源スイッチをオンにします。



-  **メモ**：充電プロセスの間、対話型ペンのオレンジ色のバッテリーライトは充電が完了するまで常時点灯しています。
-  **メモ**：始めて使用する場合、バッテリーを完全に充電するには4～5時間以上かかります。完全に充電されたバッテリーは25時間の連続使用が可能です。または、スタンバイ状態で4週間持ちます。
-  **注意**：ドッキングチャージャーを充電できない場合、DELL™にお問い合わせください。

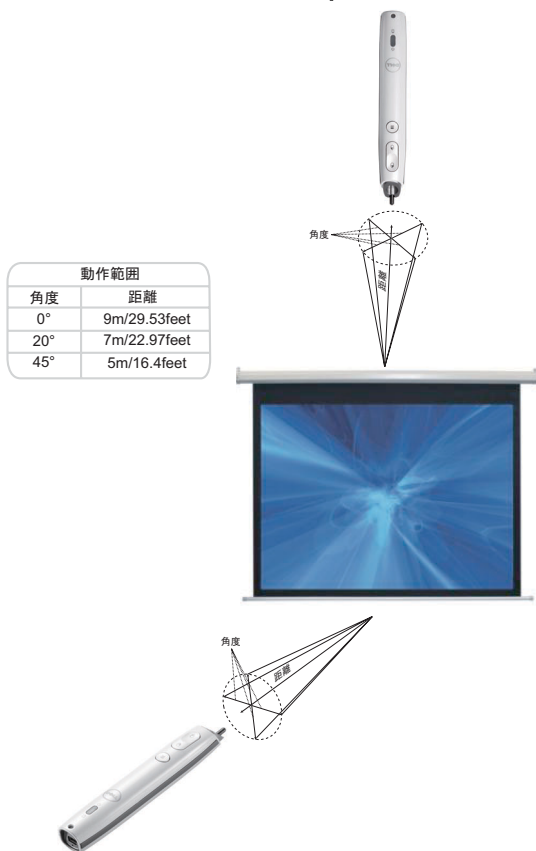
リモコンの動作範囲

動作範囲	
角度	±20°
距離	7m/22.97feet



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンで 프로젝タを適切に操作できない原因となります。

対話型ペンの捜査範囲 (S500wi 専用)




メモ:

- プロジェクタは 100 インチの画像サイズ、輝度モードで、2000 lm の明るさがあります。
- 1つのプロジェクタに複数のペン (10 個まで) を接続できますが、それを同時に使用することはできません。
- 実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。
- プロジェクタの明るさが衰えると、ペンの操作範囲に影響が及びます。

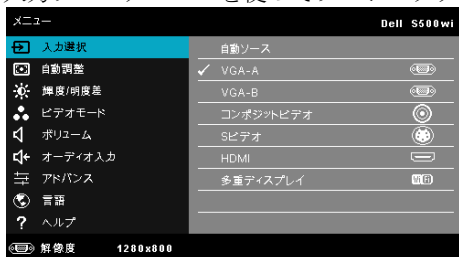
オンスクリーンディスプレイの使用方法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- コントロールパネルまたはリモコンの [メニュー] ボタンを押して [メインメニュー] に入ります。
- メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの ボタンまたは ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの または ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの または ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- コントロールパネルまたはリモコンの または ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、コントロールパネルまたはリモコンの ボタンを押します。
- OSD を終了するには、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを直接おします。

 **メモ**：OSD 構造およびセットは、S500 と S500wi モードの場合同じです。

入力ソース

入力ソースメニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。




VGA-A — を押して VGA-A 信号を検出します。


VGA-B — を押して VGA-B 信号を検出します。

HDMI — を押して HDMI 信号を検出します。

コンポジット — を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

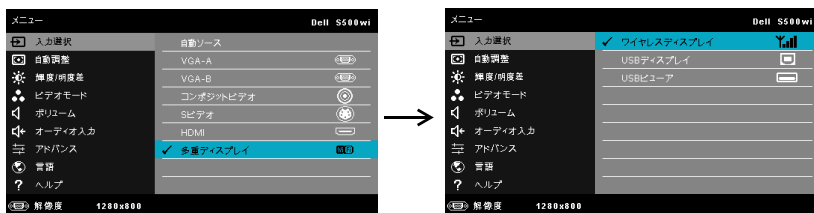
S ビデオ — を押して S ビデオ信号を検出します。


多重ディスプレイ —  を押して入力ソースの多重ディスプレイメニューを起動します。

 **メモ:** 「ワイヤレス / LAN」オプションをオンにすると、多重ディスプレイを使用できるようになります。

入力ソースの複数ディスプレイ

入力ソースの複数ディスプレイメニューにより、無線表示、USB ディスプレイ、USB ビューアを有効にできます。



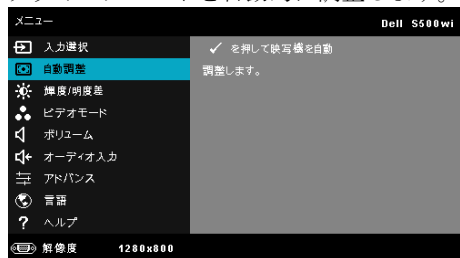
無線表示 —  を押してプロジェクタのワイヤレスガイド画面にアクセスします。ページ 76 の「ワイヤレスガイドスクリーン」を参照してください。

USB ディスプレイ — USB ケーブル経由で、プロジェクタからデスクトップ / ノート PC スクリーンを表示します。

USB ビューア — USB フラッシュから PPT ファイルに写真を表示できます。ページ 83 の「Presentation to Go (PtG) のインストール」をご覧ください。

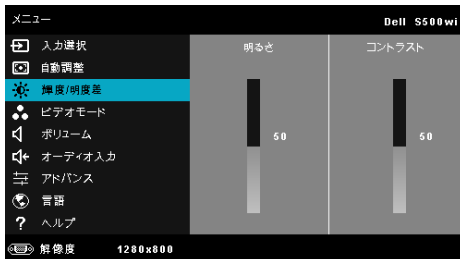
自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの水平、垂直、周波数、トラッキングモードを自動的に調整します。



輝度 / 明度差

明るさ / コントラストメニューにより、プロジェクタの輝度 / コントラスト設定を調整できます。

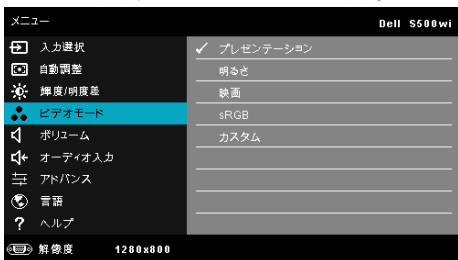



明るさ — や を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト — や を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

ビデオモード

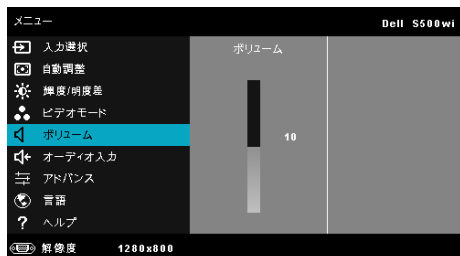
ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、および**カスタム**（お好みの色を設定します）。



 **メモ**：明るさ、コントラスト、彩度、鮮明度、色合い、アドバンスの設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムに切り替わりません。

ボリューム

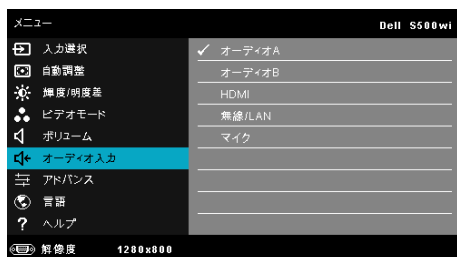
ボリュームメニューにより、プロジェクトの音量設定を調整できます。



ボリューム を押して音量を上げ、 を押して音量を下げます。

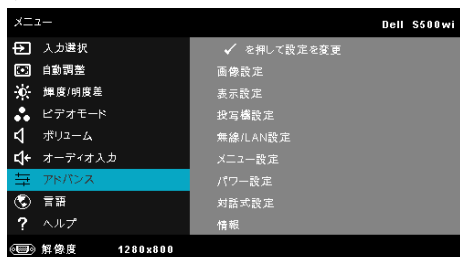
オーディオ入力

オーディオ入力メニューを使ってプロジェクトのオーディオ入力ソースを選択します。オプション：オーディオA、オーディオB、HDMI、無線/LAN、とマイク。

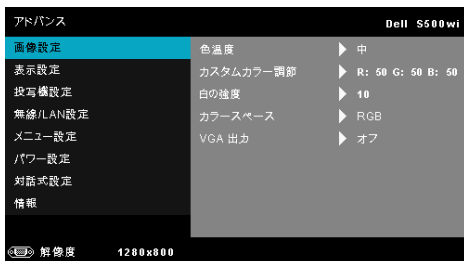


アドバンス

詳細設定メニューは画像、表示、投写機、無線/LAN、メニュー、パワー、情報の設定を変更します。



画像設定 (PC モード) — を選択して押し、画面設定を起動します。
 [画像設定] メニューには次のオプションがあります。



色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

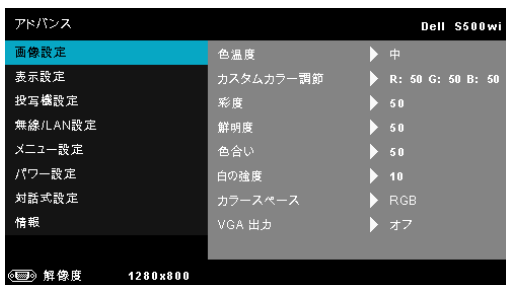
カスタムカラー調節 — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

白の強度 — を押し、 と を使用して白の強度を表示します。

カラースペース — 色空間を選択します。オプション: RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

VGA 出力 — オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。初期設定はオフです。

画像設定 (ビデオモード) — を選択して押し、画面設定を起動します。
 [画像設定] メニューには次のオプションがあります。



色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

彩度 —ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を増やし、を押して画像の色の量を減らします。


鮮明度 —を押して鮮明度を上げ、を押して鮮明度を下げます。

色合い —を押して画像の緑色の量を増やし、を押して緑色の量を減らします（NTSC用にのみ使用可能）。

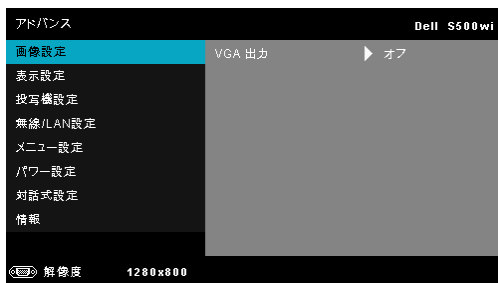
白の強度 —を押し、とを使用して白の強度を表示します。

カラースペース —色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、およびYPbPrがあります。

VGA出力 —オンまたはオフを選択すると、VGA出力はプロジェクトのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。

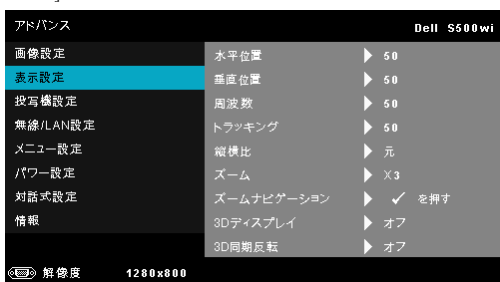
 **メモ**：彩度、鮮明度、色合いは、入力ソースがコンポジットやSビデオから出ている場合のみ使用可能です。

画像設定（入力ソースなし） —を選択して押し、画面設定を起動します。[画像設定]メニューには次のオプションがあります。



VGA出力 —オンまたはオフを選択すると、VGA出力はプロジェクトのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。

表示設定 (PC モード) — を選択して押し、画面設定を起動します。
 [画像設定] メニューには次のオプションがあります。



水平位置 — を押して画像を右へ移動し、 を押して画像を左へ移動します。

垂直位置 — を押して画像を上へ移動し、 を押して画像を下へ移動します。

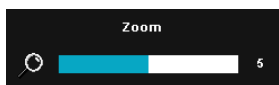
周波数 — ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング — ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

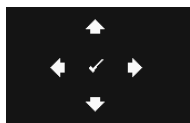
縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション: 元 (5)、16:9、と 4:3。

- 元 (5) — 元 (5) を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9 — 入力ソースを調製して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調製して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

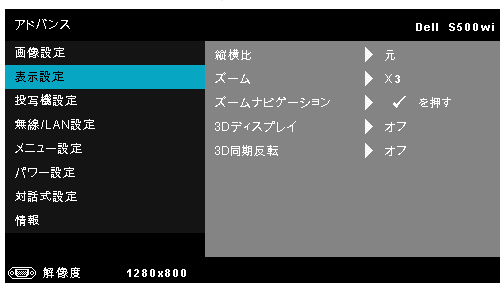
3D ディスプレイ オンを選択して 3D ディスプレ機能を起動します (デフォルトはオフ)。

 **メモ:**

1. 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - a 120 Hz 信号出力四重化バッファカードを搭載するデスクトップ PC/ ノート PC。
 - b DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - c 3D コンテンツ。「注 4」を参照してください。
 - d 3D プレーヤー。(例：ステレオプレーヤー ...)
2. 以下の条件をいくつか満たすと、3D 機能が有効になります：
 - a VGA または HDMI ケーブルにより 120 Hz 信号で出力できるグラフィックスカード搭載の、デスクトップ PC/ ノート PC。
 - b ビデオおよび S ビデオによる一連の 3D コンテンツの入力。
3. 「3D ディスプレイ」選択はプロジェクタが上記の入力のいずれかを検出するとき、「詳細設定の表示設定」メニューでのみ有効にされます。
4. 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - a VGA/HDMI 1280 x 720 120 Hz、1024 x 768 120 Hz、800 x 600 120 Hz
 - b コンポジット /S ビデオ 60 Hz
 - c コンポーネント 480i
5. ノート PC 用に推奨される VGA 信号は、単一モード出力です (デュアルモードはお勧めできません)

3D 同期反転 —DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

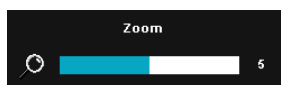
表示設定（ビデオモード） — を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



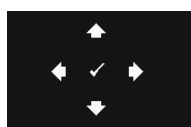
縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション: 元 (5)、16:9、と 4:3。

- 元 (5) — 元 (5) を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

3D ディスプレイ — オンを選択して 3D ディスプレ機能を起動します (デフォルトはオフ)。

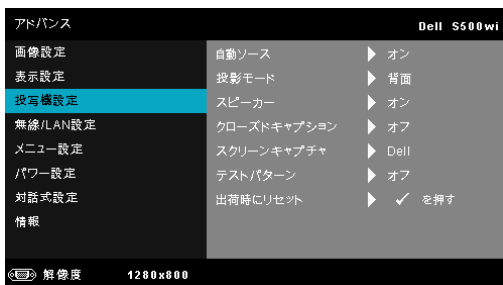
メモ:

1. 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります:
 - a 120 Hz 信号出力四重化バッファカードを搭載するデスクトップ PC/ ノート PC。
 - b DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - c 3D コンテンツ。「注4」を参照してください。

- d 3D プレーヤー。(例：ステレオプレーヤー...)
2. 以下の条件をいくつか満たすと、3D 機能が有効になります：
 - a VGA または HDMI ケーブルにより 120 Hz 信号で出力できるグラフィックスカード搭載の、デスクトップ PC/ ノート PC。
 - b ビデオおよび S ビデオによる一連の 3D コンテンツの入力。
 3. 「3D ディスプレイ」選択はプロジェクトが上記の入力のいずれかを検出するとき、「詳細設定の表示設定」メニューでのみ有効にされます。
 4. 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - a VGA/HDMI 1280 x 720 120 Hz、1024 x 768 120 Hz、800 x 600 120 Hz
 - b コンポジット /S ビデオ 60 Hz
 - c コンポーネント 480i
 5. ノート PC 用に推奨される VGA 信号は、単一モード出力です (デュアルモードはお勧めできません)

3D 同期反転—DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

投写機設定—を選択して押して、プロジェクト設定を起動します。プロジェクト設定メニューには次のオプションがあります。




自動ソース—オフ (デフォルト) を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソースモード**を**オフ**に設定した状態でソースボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。**オン**を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクトの電源が入った状態で**ソース**ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

投影モード—プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

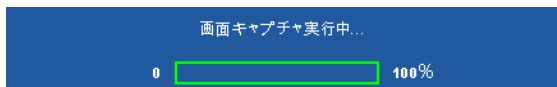
- リアプロジェクションデスクトップ—プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- リアプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）—プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。壁掛けで透過スクリーンの裏面から投影できます。
- フロントプロジェクションデスクトップ—これは初期設定オプションです。
- フロントプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）—壁掛けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。


スピーカー—オンを選択してスピーカを有効にします。オフを選択してスピーカを無効にします。

クローズドキャプション—オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプションオプションの選択：CC1、CC2、CC3、CC4を選択します。





 **メモ**：クローズドキャプションのオプションは、NTSCでのみ使用できます。

スクリーンキャプチャ—デフォルトは壁紙としてのDellロゴです。スクリーンキャプチャオプションを選択してスクリーンディスプレイをキャプチャすることもできます。次のメッセージがスクリーンに表示されます。

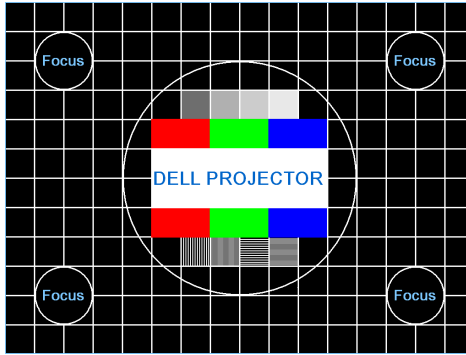


 **メモ**：フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が1280 x 800解像度であることを確認します。

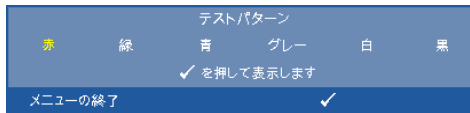
テストパターン—テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1、または2を選択して**テストパターン**の有効/無効を切り替えることができます。コントロールパネルのとボタンを2秒間同時に押し続けることで、テストパターン1を呼び起こすこともできます。コントロールパネルのとボタンを2秒間同時に押し続けることで、テストパターン2を呼び起こすこともできます。

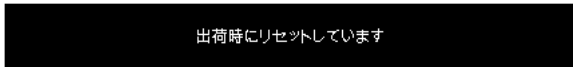
テストパターン 1:



テストパターン 2:

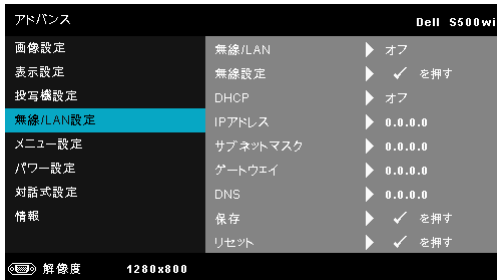


出荷時にリセット を選択して押すと、すべての設定が工場デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます:

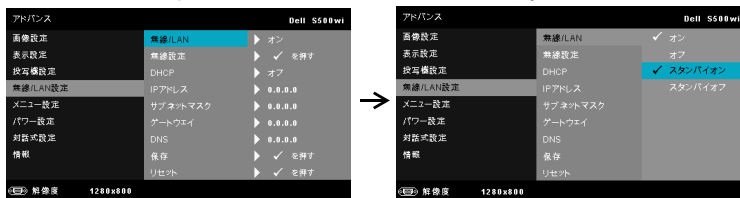


コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

無線 /LAN 設定 (LAN モード) を選択して押し、ワイヤレス /LAN 設定を起動します。ワイヤレス /LAN 設定メニューには次のオプションがあります。



無線/LAN—オンを選択すると、ワイヤレス/LAN機能が起動します。プロジェクトがスタンバイ状態に入っている間、無線/LANモジュールをオン/オフに設定することもできます。



無線設定—を選択して押し、無線設定メニュー設定を起動します。ページ 64 の「無線/LAN 設定 (Wireless モード)」をご覧ください。

DHCP—プロジェクトが接続されるネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、IP アドレスは DHCP オンを選択するとき自動的に取得されます。DHCP がオフの場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。とを使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、とを使用して次の項目を設定します。

IP アドレス—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。

サブネットマスク—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

保存—を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

 **メモ:**

1. と ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
2. ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - a. と ボタンを使ってオプションを選択します。
 - b. と ボタンを使って値を設定します。


- c セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。
3. IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、**保存**を選択し ボタンを押して設定を保存します。
4. **Enter** ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット—を押して、ネットワーク設定をリセットします。

無線 /LAN 設定 (WIRELESS モード)—を選択して押し、ワイヤレス設定を起動します。ワイヤレス設定メニューには次のオプションがあります。



ワイヤレス—デフォルトのオプションは**接続済み**です。**切断済み**を選択すると、ワイヤレス接続が無効になります。

 **メモ:** ワイヤレス接続に対して初期設定を使用することをお勧めします。

DHCP サーバー—ワイヤレスの DHCP サーバーを有効にすることができます。

IP アドレスの開始—DHCP サーバーの開始 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。

IP アドレスの終了—DHCP サーバーの終了 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。










サブネットマスク—ワイヤレス接続のサブネットマスクを設定します。


ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

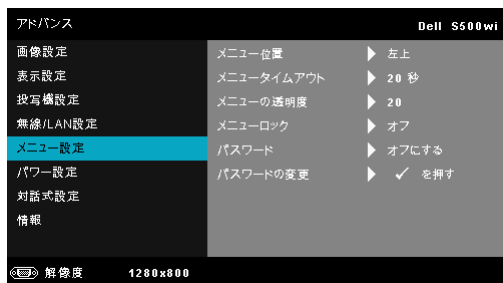
DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

保存—を押して、ワイヤレス設定で行った変更を保存します。

メモ:

1.  と  ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
2.  ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - a.  と  ボタンを使ってオプションを選択します。
 - b.  と  ボタンを使って値を設定します。
 - c. セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。
3. IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、**保存**を選択し  ボタンを押して設定を保存します。
4. **Enter** ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

メニュー設定 —  を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。



メニュー位置 — OSD メニューの画面上の位置を変更します。


メニュータイムアウト — OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

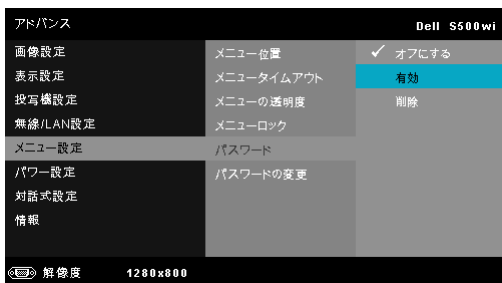
メニューの透明度 — OSD 背景の透明度レベルを変更します。


メニューロック — オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。**オフ**を選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

パスワード—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

1 初回パスワード入力 of 要請

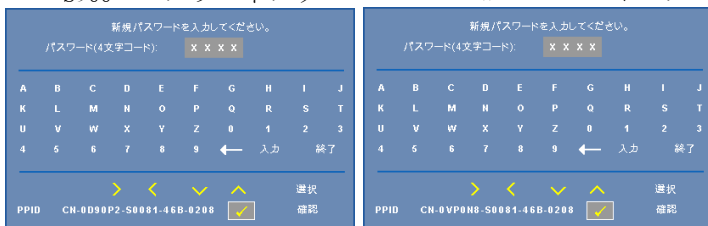
- a **メニュー設定**に移動し、を押したら**パスワード**を選択しパスワード設定を**有効**します。




- b パスワード機能を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。

S500 パスワードスク

S500wi パスワードスク



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと2回で正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。

 **メモ:** パスワードを忘れた場合は、DELL™ または正規サービス技術者までご連絡ください。

3 パスワード機能を無効にするには、**無効**を選択して機能を閉じます。

4 パスワードを削除するには、**削除**オプションを選択します。

パスワードの変更 —元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

S500 パスワードの変更スクリーン

S500wi パスワードの変更スクリーン

元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0090P2-S0081-46B-0208 選択 確認

元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0VP0N8-S0081-46B-0208 選択 確認

新規パスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0090P2-S0081-46B-0208 選択 確認

新規パスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0VP0N8-S0081-46B-0208 選択 確認

新しいパスワードを再入力してください。

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0090P2-S0081-46B-0208 選択 確認

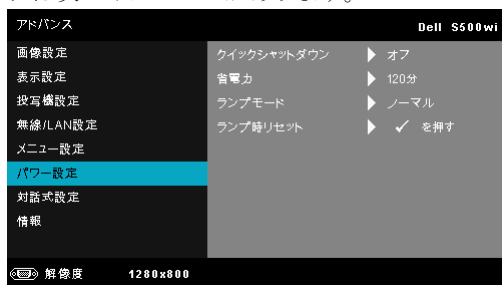
新しいパスワードを再入力してください。

パスワード(4文字コード):


A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0VP0N8-S0081-46B-0208 選択 確認

パワー設定 を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。



クイックシャットダウン—オンを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約30秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

省電力—オフを選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは120秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間どれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は30分、60分、90分、120分に設定できます。

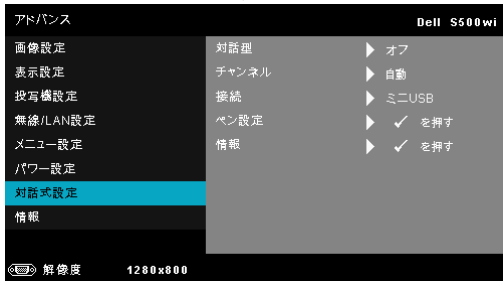
遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

ランプモード—ノーマルまたはエコモードから選択します。

ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。ECOモードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミネナンス出力が弱くなります。

ランプ時リセット を押して**確認**オプションを選択し、ランプ時間をリセットします。

対話式設定 (S500wi 専用) — を選択して押し、対話式設定を起動します。対話式設定メニューには次のオプションがあります。



対話型 — オンを選択し、対話型ペン機能を有効にします。

メモ:

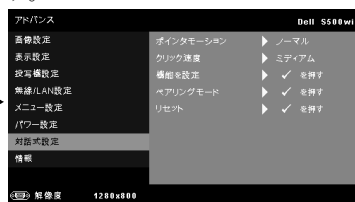
1. 対話型ペンが接続されていることを確認してください。ページ 27 の「対話型ペンへの接続 (S500wi 専用)」をご覧ください。
2. 対話型ペンは、次の環境では使用できません:
 - a 拡張モードの場合。
 - b 3D ディスプレイ機能が有効になっていて、120 Hz 入力ソースがプロジェクタに接続されているとき。
3. 双方向性は次の入力モードでのみサポートされます: PC から VGA と HDMI、ワイヤレスディスプレイ、LAN ディスプレイ、USB ディスプレイ

チャンネル — 自動または手動として選択したチャンネルを設定します。

- 自動 — チャンネルは自動的に選択されます。
- 手動 — チャンネルは手動で選択されます。合計 30 のチャンネルを使用できます。

接続 — ミニ USB または無線/LAN としてチャンネル選択を設定します。

ペン設定 — を選択して押し、ペン設定を起動します。ペン設定メニューには次のオプションがあります。



ポインタモーション—ポインタモーションモードを選択します。ノーマル、描画、と安定。

- **ノーマル**—ノーマルモードでは、対話型ペンの左ボタンを押すと短い時間ポインタの位置を保持することができます。このモードはマウスのような対話型ペンの使用つまり、左クリックとダブルクリック機能に適しています。
- **描画**—描画モードでは、描画用に位置を自由に動かすことができます。このモードは、スクリーンでの描画または記述に適しています。
- **安定**—安定モードでは、対話型ペンの左ボタンを押し続けるとポインタの縦と横の動きを制限することができます。左ボタンを放すと、ポインタの自由な動きを再開できます。このモードは、スクリーンで縦または横の線を描画するのに適しています。

クリック速度—マウスの一時停止時間を設定できます。この機能は、ノーマルモードでのみ使用できます。使用可能なオプションは速い、ミディアムと低。

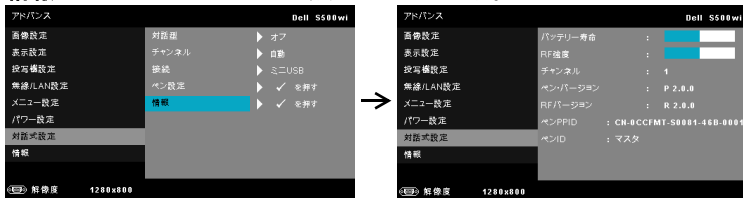
- **速い**—ポインタモーションのフリーズ時間を最小の 0.5 秒に設定します。
- **ミディアム**—ポインタモーションのフリーズ時間中くらいの値、1.0 秒に設定します。
- **低**—ポインタモーションのフリーズ時間を最大の 1.5 秒に設定します。

機能を設定—対話型ペンの機能ボタンの機能を設定できます。使用可能なオプション：**トグル：通常 / 描画 / 安定、PowerPoint 注釈、ウィンドウの切り替え (Alt + Tab)、Esc、デスクトップの表示 (Cmd + D)、Windows エクスプローラを開く (Cmd + E)、ミドルマウス、ダブルクリックと無効 (ページ 39 の「対話型ペンの使用 (S500wi 専用) 」を参照)。**



- **トグル：通常 / 描画 / 安定**—ノーマル、描画、安定モードを切り替える機能。
- **PowerPoint 注釈**—PowerPoint スライドショーの注釈として機能します。
- **ウィンドウの切り替え (Alt + Tab)**—キーボードのショートカット Alt+Tab のように、ウィンドウの切り替えとして機能します。

情報 — ペン 1 またはペン 2 情報を表示します。



情報 — [情報] メニューには、現在の S500 または S500wi プロジェクタ設定が表示されます。



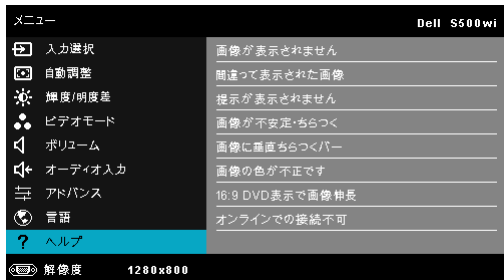
言語

OSD 用の言語を設定します。 を押して言語メニューを起動します。




ヘルプ

プロジェクトに問題が発生した場合、ヘルプメニューにアクセスしてトラブルシューティングを行うことができます。



ワイヤレスネットワーキングのインストール

 **メモ:** コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム:

- Windows

Microsoft Windows 2000™ with service pack 4 以降、Windows XP™ Home または Professional Service pack 2 32 ビット (推奨)、Windows Vista 32 ビット、Windows 7® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- MAC


MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア:

- a Intel™ Pentium™ III-800 MHz (以上)
- b 256 MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨
- c 10 MB の空きハードディスク容量
- d 800 x 600 16 ビットの high color または高解像度ディスプレイをサポートする Super VGA をサポートします (コンピュータとディスプレイ)
- e イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)
- f WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g または 802.11n Wi-Fi デバイス)

Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) または 8.0、Firefox 1.5 または 2.0、および 3.0 と above

 **メモ:** ワイヤレスネットワークのインストールステップは、S500 と S500wi モードの場合同じです。

プロジェクタのワイヤレスを有効にする

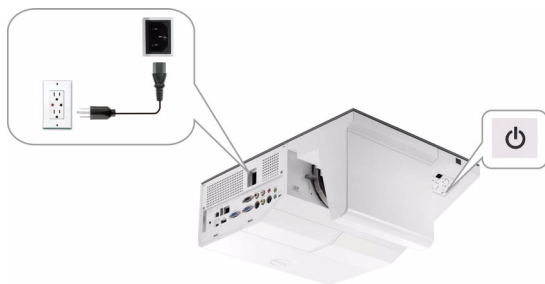
プロジェクタをワイヤレスで使用するには、以下のステップを完了する必要があります。

- 1 オプションのワイヤレスドングルを取り付けます (S500 のオプション)。ページ 13 の「オプションのワイヤレスドングルの取り付け」をご覧ください。

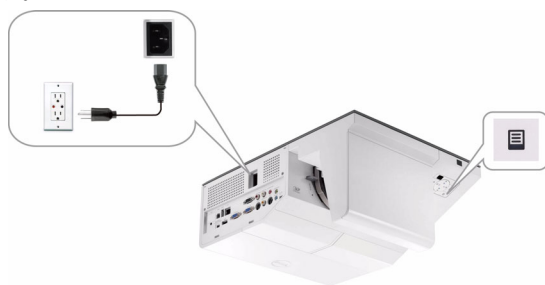







メモ : S500wi に埋め込まれたワイヤレスドングル。

- 2 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押します。



- 3 プロジェクタコントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押します。



メモ : 、、、 ボタンを使用して  をナビゲートし選択します。

- 4 ワイヤレス接続デフォルトが有効になります。ページ 64 の「無線 / LAN 設定 (Wireless モード)」をご覧ください。
- 5 入力ソースメニューにアクセスし、**多重ディスプレイ**を選択し、サブメニューで**無線表示**を引き続き選択します。ページ 52 の「入力ソースの複数ディスプレイ」をご覧ください。

ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます。:



メモ: ワイヤレス接続が無効になっている場合、以下のステップに従ってセットアップします: アドバンス → 無線/LAN 設定 → 無線設定 → ワイヤレス → 接続済み。このステップでワイヤレスオプションが選択されている場合、画像入力ソースはワイヤレススクリーンに自動的に切り替わります。

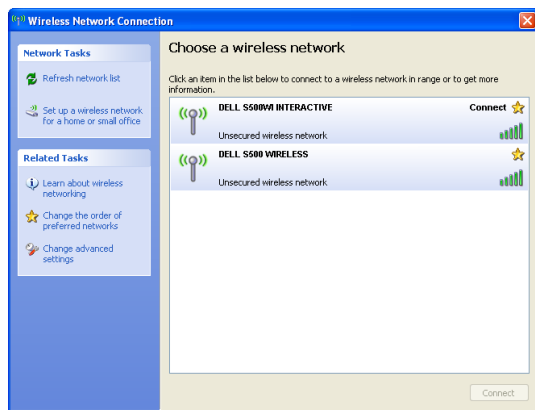


6 ログインコード、ネットワーク名 (SSID)、および IP アドレスをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

コンピュータにワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする

ワイヤレスプロジェクトを使用するには、システムにソフトウェアをインストールする必要があります。

- 7 コンピュータを S500 または S500wi ワイヤレスネットワークに接続します。

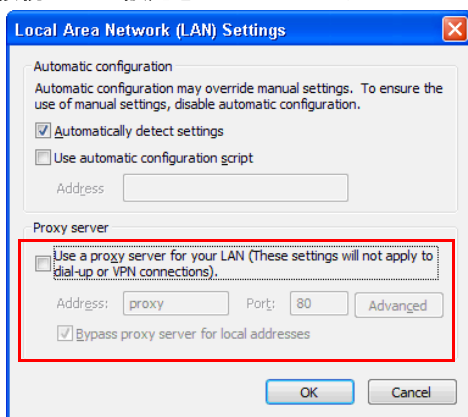


メモ:

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- S500 または S500wi ワイヤレスネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。



メモ: すべてのプロキシをオフにするのを忘れないでください。
(Microsoft® Windows Vista: コントロールパネル → インターネットオプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



- 8 インターネットブラウザを開きます。S500 または S500wi Web 管理 Web ページに自動的にジャンプします。



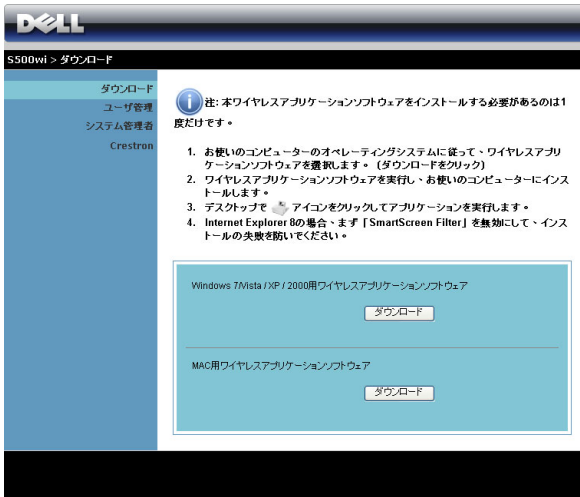
メモ : Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクトのスクリーンからメモした IP アドレスを入力してください。



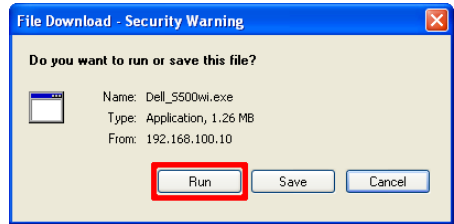
- 9 S500 または S500wi Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード**をクリックします。





- 10 適切なオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード**をクリックします。

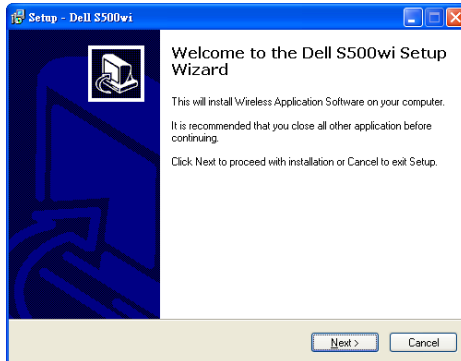


- 11 [実行] をクリックして、ソフトウェアの 1 回限りのインストールに進みます。



-  **メモ:** ファイルを保存して後でインストールを選択することができます。これを実行するには、[保存] をクリックします。

-  **メモ:** コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



S500 または S500wi ワイヤレスアプリケーションソフトウェア

インストールが完了すると、S500 または S500wi ワイヤレスアプリケーションソフトウェアが起動し、プロジェクトを自動的に検索します。以下の画面が表示されます。



ログイン

プロジェクトとコミュニケーションを取るには、ワイヤレスネットワークのインストールのステップ 6 で提供されたログインコードを入力し、[OK] をクリックします。

S500 ログイン画面



S500wi ログイン画面



SSID: DELL S500 WIRELESS

IPアドレス: 192.168.100.10

ユーザ名: User

ログインコード:

OK キャンセル

SSID: DELL S500WI INTERACTIVE

IPアドレス: 192.168.100.10

ユーザ名: User

ログインコード:

Interactive




OK キャンセル

メモ: IPアドレスが検出されない場合、画面左下に表示されるIPアドレスを入力します。

ボタンを理解する





ログインに成功すると、コンピュータスクリーンに次のメニューが表示されます。




項目	説明
1	ステータスバー IP とログインコード情報を表示します。
 メニュー	このアイテムをクリックすると、アプリケーションメニューがアクティブになります。
 最小化ボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。

	項目	説明
2	コントロールツールバー	
	 全画面	このアイテムをクリックすると、全画面で画像を投影します。
	 分割 1	このアイテムをクリックすると、画面左上の画像が投影されます。
	 分割 2	このアイテムをクリックすると、画面右上の画像が投影されます。
	 分割 3	このアイテムをクリックすると、画面左下の画像が投影されます。
	 分割 4	このアイテムをクリックすると、画面右下の画像が投影されます。
	 停止	このボタンをクリックすると投影が停止されます。
	 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
3	更新	このボタンをクリックすると、投影された画像が更新されます。
	接続ステータス	
	 接続アイコン	投影が進行中の時に点滅します。

プレゼンテーションの投影

- プレゼンテーションを投影するには、投影ボタンのどれかをクリックします。
- プレゼンテーションを一時停止するには、 をクリックします。アイコンが緑に変わります。
- プレゼンテーションを続行するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションを停止するには、 をクリックします。

 **メモ**：次の情報は、ワイヤレスデータプレゼンテーションモード専用です。ビデオクリップまたはアニメーションを表示している場合、画像ディスプレイが遅くなるかスムーズに表示されない可能性があります。詳しくは、以下のフレームレートを参照してください。


ワイヤレスプレゼンテーションのフレームレート

画面変動 % ¹	推定フレーム / 秒 ²
<5 %	30


<10%	28
<20%	26
<40%	25
<75%	22
<=100%	20

メモ:

- 画面変動のパーセンテージは 1024 x 768 に基づいています。例えば、1024 x 768 デスクトップに 320 x 240 を表示する場合、画面変動は 9.8% です。
- フレームレートの作動は、ネットワーク環境、画像コンテンツ、信号条件、場所、CPU パフォーマンスなどの要因によって異なります。
- 802.11g 接続を使用するクリーンな WLAN 環境下では、画面の伸縮はありません。
- 1024 x 768 に 802.11g の下で圧縮されます。

 **メモ:** ワイヤレス、USB ディスプレイおよび USB ビューアプレゼンテーションを実行しているとき、コンピュータは S1 (スタンバイモード) / S3 (スリープモード) / S4 (ハイパーネートモード) に入りません。

メニューを使う

 をクリックしてメニューを表示します。

Web管理
プロジェクトの検索
Application Tokenウィザード
情報
このソフトウェアについて
終了

WEB 管理 —このボタンをクリックして Web 管理ページを開きます。ページ 89 の「Web 管理からプロジェクトの管理」をご覧ください。

プロジェクトの検索 —このボタンをクリックしてワイヤレスプロジェクトを検索し、接続します。

APPLICATION TOKEN ウィザード —このボタンをクリックしてアプリケーショントークンを作成します。ページ 108 の「アプリケーショントークンの作成」をご覧ください。

情報 .このボタンをクリックすると、システム情報が表示されます。

このソフトウェアについて —このアイテムをクリックすると、アプリケーションバージョンが表示されます。

終了 —このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。

Presentation to Go (PtG) のインストール

PtG をインストールするためのシステムの最小要件：

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP™ Home または Professional Service pack 2/3 32 ビット (推奨)、Windows® Vista 32 ビット、および Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- Office 2003 と Office 2007



メモ：Go (PtG) のインストールステップのプレゼンテーションは、S500 と S500wi モードの場合同じです。

USB ビューアを使用するには、以下のステップを完了する必要があります。

- 1 プロジェクタの無線/LAN機能を有効にします。ページ 62 の「無線/LAN 設定 (LAN モード)」をご覧ください。



メモ：ワイヤレスを開始するとき、ワイヤレス/ネットワークが再起動するまで約 50 秒お待ちください。

- 2 USB フラッシュをプロジェクタに差し込みます。

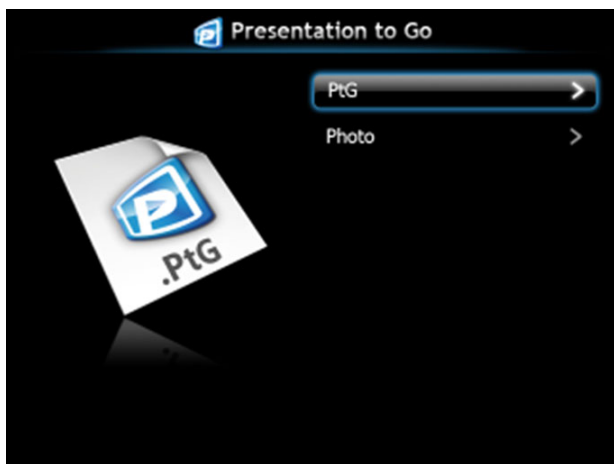


メモ：

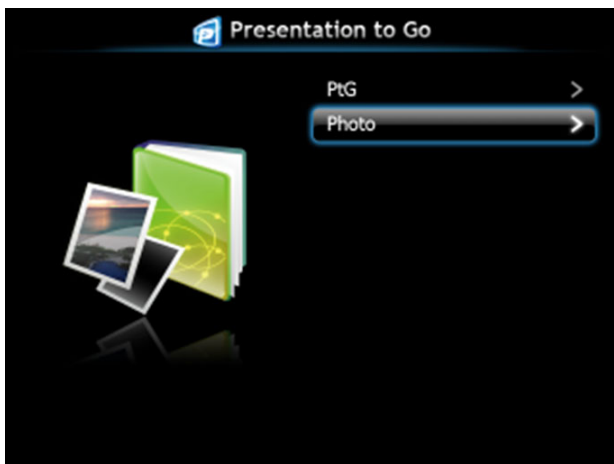
- 10 Mb x 40 M ピクセル内で JPEG 形式の写真のみをサポートします。
 - PtG コンバータは、PowerPoint ファイルを PtG ファイルに変換することができます。ページ 87 の「PtG Converter - Lite アプリケーションソフトウェア」をご覧ください。
 - 「PtG Converter n Lite」は、Dell サポートサイト：support.dell.com からダウンロードできます。support.dell.com
- 3 入力ソースメニューで、**多重ディスプレイ**を選択し、サブメニューで USB ビューアを引き続き選択します。ページ 52 の「入力ソースの複数ディスプレイ」をご覧ください。**移動画面のプレゼンテーション**が表示されます。

PtG ビューア

準備ができると、このページが表示されます。




写真ビューア



PtG/ 写真機能の概要

USB ディスクに保存された PtG と写真ファイルを表示します。

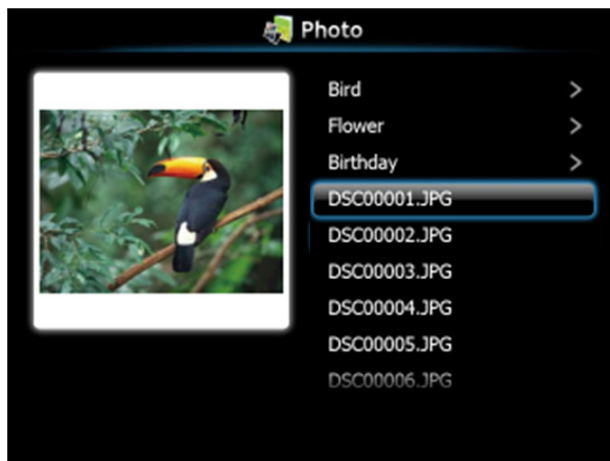
-  **メモ:**1つしかディスクが検出されないと、このステップをスキップします。




PtG 概要



写真概要




-  **メモ**：14の言語の写真ファイル名形式をサポートします（言語：英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、朝鮮語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語）。

ボタンの概要

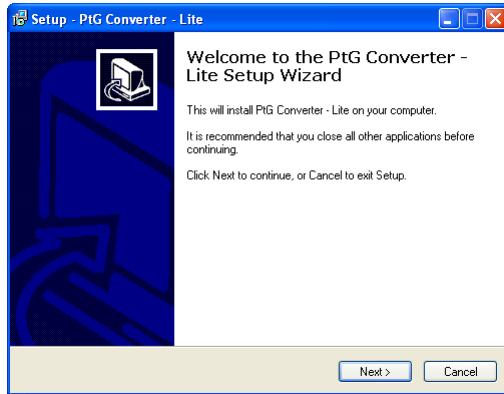
上、下および左ボタンを使ってナビゲートし、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの ボタンを使って選択します。

ボタン	上 <input type="checkbox"/>	ダウン <input type="checkbox"/>	左 <input type="checkbox"/>	右 <input type="checkbox"/>	エンター <input checked="" type="checkbox"/>
PtG 機能	上	下	戻る	機能なし	入力
PtG 再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	次の一時停止
写真機能	上	下	戻る	機能なし	入力
写真再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	機能なし

-  **メモ**：PtG を使用している間 OSD に入る場合、上、下および左ボタンによる PtG ナビゲーションは機能しません。

PtG Converter - Lite のセットアップ


スクリーンの指示に従って、セットアップを完了してください。

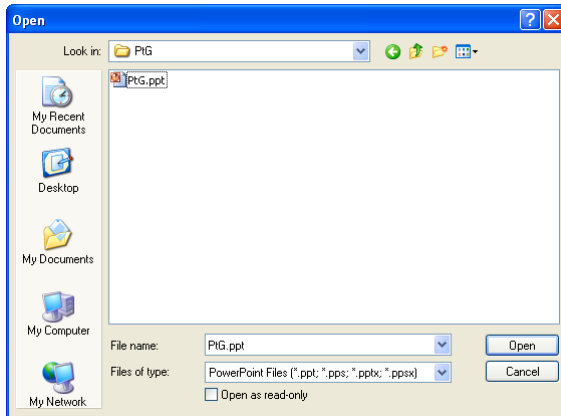


PtG Converter - Lite アプリケーションソフトウェア

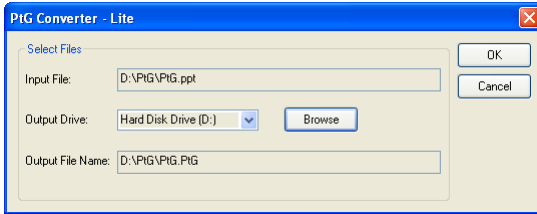
「PtG Converter - Lite」を起動してください。以下の画面が表示されます。



- 1  をクリックして変換を開始します。
- 2 変換する PowerPoint ファイルを選択します。



- 3 [参照] ボタンをクリックして保管場所を選択し、[OK] を押します。



 **メモ:**

- 1 コンピュータに MS PowerPoint がインストールされていないと、ファイル変換はできません。
- 2 PtG コンバータは、20 ページまでサポートします。
- 3 PtG は、ppt ファイルの .PtG ファイルへの変換のみをサポートします。


Web 管理からプロジェクトの管理

セットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、ページ 62 の「無線/LAN 設定」を参照してください。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 5.0 以降または Firefox 1.5 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

 **メモ**：Web 管理およびセットは、S500 と S500wi モードの場合同じです。

ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。ページ 62 の無線/LAN 設定を参照してください。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。


ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのダウンロード

ページ 74 の「ワイヤレスネットワークのインストール」を参照してください。

S500wi > ダウンロード

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者
Crestron

i 注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。

1. お使いのコンピューターのオペレーティングシステムに従って、ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを選択します。(ダウンロードをクリック)
2. ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを実行し、お使いのコンピューターにインストールします。
3. デスクトップで  アイコンをクリックしてアプリケーションを実行します。
4. Internet Explorer 8の場合、まず「SmartScreen Filter」を無効にして、インストールの失敗を防いでください。

Windows 7/Vista / XP / 2000用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア	ダウンロード
MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア	ダウンロード

コンピュータの対応するオペレーティングシステムの **ダウンロード** ボタンをクリックします。

ユーザ管理

これにより、プロジェクタケーブルを使わずにさまざまなソースから会議のプレゼンテーションをホストし、各プレゼンテーションが画面に表示される方法を制御することができます。



メモ: 会議撮影コントロールがない場合、アプリケーションの「再生」ボタンを押した最後のユーザーが全画面投影をコントロールします。

パソコン名: 会議制御用にログされたコンピュータを一覧表示します。

投影コントロール: ボタンをクリックして、各コンピュータの投影が画面に表示される方法を制御します。

- 全画面投影 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面全体に占められます。
- 1 分割 1 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左上に表示されます。
- 2 分割 2 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右上に表示されます。
- 3 分割 3 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左下に表示されます。
- 4 分割 4 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右下に表示されます。
- 停止 - コンピュータからの投影が停止します。

IP アドレス: 各コンピュータの IP アドレスを表示します。

メモ: 会議を終了するには、**ログアウト**をクリックします。

プロジェクトの管理

システム管理者

S500wi > システム管理者

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者
Crestron

管理者パスワード	<input type="text"/>	ログイン
PPID	CN-0VP08N-S0081-925-0000	

管理ページにアクセスするには、管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**: 管理者パスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、ページ 97 の「パスワードの変更」を参照してください。

状態



状態		
ネットワークセットアップ	ネットワーク状態	
投影セットアップ	IPアドレス	192.168.3.82
パスワードの変更	サブネットマスク	255.255.255.0
出荷時状態に戻す	デフォルトゲートウェイ	192.168.3.254
ファームウェア更新	MACアドレス	B8:AC:6F:E0:14:B8
プロジェクトのコントロールパネル	接続状態	
アラート設定	投影状態	投影待ち中
 再起動	ユーザー数	0
	プロジェクトの状態	
	モデル名	S500WI
	プロジェクト名	D33128
	場所	
	連絡先	
	ステータス	オン
	ランプ時間	7 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクトの状態情報を表示します。

ネットワーク状態

ページ 62 の OSD セクションを参照してください。

5500wi > システム管理者 > ネットワークセットアップ

ホーム

状態

ネットワークセットアップ

長匙セットアップ

パスワードの変更

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトのコントロールパネル

アラート設定

再起動

IP セットアップ

- IPアドレスを自動的に取得
- 次の IP アドレスを使用する

IPアドレス	192	168	100	10
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	192	168	100	10
DNSサーバー	192	168	100	10

自動 無効

DHCP セットアップ

開始IPアドレス	192	168	100	11
終了IPアドレス	192	168	100	254
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	192	168	100	10
DNSサーバー	192	168	100	10

無線セットアップ

無線LAN	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
地域	--- WORLDWIDE ---
SSID	DELL S500WI INTERACTIVE
SSID ブロードキャスト	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
チャンネル	自動
セキュリティ	無効
キー	

RADIUS Server Setup

IPアドレス	192	168	100	10
Port	1812			
キー				

GateKeeper

全て開放 全て遮断 インターネットのみ開放

SNMP に対してセキュリティを設定します

書き込みコミュニティ	private
------------	---------

適用 キャンセル

IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得を選択して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てるか、次の IP アドレスを使用するで IP アドレスを手動で割り当てます。

DHCP セットアップ

- 自動を選択して開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーアドレスを DHCP サーバーから自動的にセットアップするか、または無効でこの機能を無効にします。

無線セットアップ

- **有効**を選択して**地域**、**SSID**、**SSIDブロードキャスト**、**チャンネル**、**暗号化**、**キー**をセットアップします。**無効**を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID: 最大 32 の文字長。

暗号化: WPA キーを**無効**にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

キー: 暗号化が有効になると、選択した暗号化モードに従ってキー値を設定する必要があります。

RADIUS セットアップ

- IP アドレス、ポートおよびキー情報をセットアップします。

GateKeeper

- 3つのオプションがあります。

全て開放: ワイヤレスプロジェクタを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。

全て遮断: ワイヤレスプロジェクタを介してオフィスのネットワークへのユーザーのアクセスをブロックします。

インターネットのみ開放: ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

SNMP に対してセキュリティを設定します

- 書き込みコミュニティ情報をセットアップします。

適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクタを再起動する必要があります。

投影セットアップ

S500wi > システム管理者 > 投影セットアップ

ホーム

状態

ネットワークセットアップ

投影セットアップ

パスワードの変更

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトのコントロールパネル

アラート設定

再起動

投影セットアップ	解像度	WXGA (1280x800)
	認証コード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/>
プロジェクトのセットアップ	モデル名	S500WI
	プロジェクト名	D33128
	場所	<input type="text"/>
	連絡先	<input type="text"/>

適用 キャンセル

投影セットアップ

- **解像度**: 解像度を選択します。オプション: XGA (1024 x 768) と WXGA (1280 x 800)。
- **認証コード**: プロジェクタでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
 - **無効**: システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
 - **ランダム**: デフォルトはランダムです。ログインコードはアトランダムに生成されます。
 - **指定**: 4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

プロジェクトのセットアップ

- **モデル名**、**プロジェクト名**、**場所**、**連絡先**情報をセットアップします (各フィールドごとに最大 21 文字)。


適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

パスワードの変更

The screenshot shows the Dell S500wi system management interface. At the top, the Dell logo is on the left, and the breadcrumb navigation reads "S500wi > システム管理者 > パスワードの変更". On the right, there is a "ホーム" (Home) button. A left-hand navigation menu lists various system management options: 状態 (Status), ネットワークセットアップ (Network Setup), 設定セットアップ (Configuration Setup), **パスワードの変更** (Change Password), 出荷時状態に戻す (Restore to Factory Default), ファームウェア更新 (Firmware Update), プロジェクタのコントロールパネル (Projector Control Panel), アラート設定 (Alert Settings), and a red square icon with "再起動" (Restart). The main content area is titled "システム管理者" (System Administrator) and contains a form with two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワード再入力" (Re-enter Password). A blue "適用" (Apply) button is located to the right of the second input field.

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**: 新しいパスワード。
- **パスワード再入力**: パスワードを再入力して、**適用**をクリックします。

 **メモ**: 管理者パスワードを忘れた場合、Dellにご連絡ください。

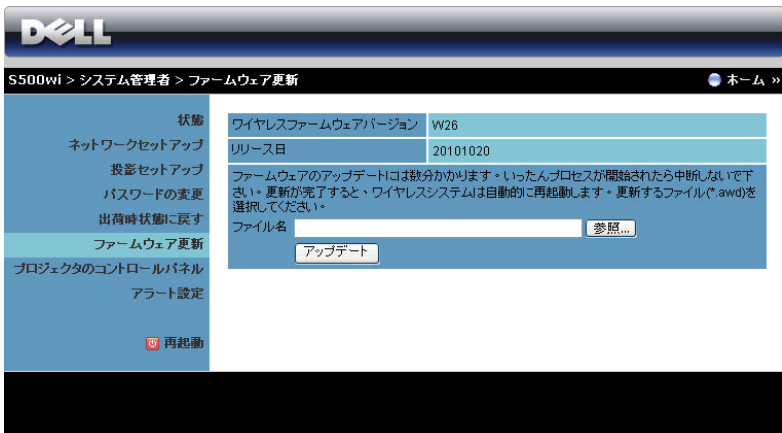
出荷時状態に戻す

The screenshot shows the Dell Projecta management web interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the breadcrumb path "S500wi > システム管理者 > 出荷時状態に戻す". A "ホーム" (Home) button is visible in the top right. On the left, a sidebar menu lists various system management options: 状態 (Status), ネットワークセットアップ (Network Setup), 投影セットアップ (Projection Setup), パスワードの変更 (Change Password), 出荷時状態に戻す (Restore factory settings - highlighted), ファームウェア更新 (Firmware Update), プロジェクタのコントロールパネル (Projector Control Panel), アラート設定 (Alert Settings), and 再起動 (Restart). The main content area has a light blue background and features a warning icon (a yellow triangle with an exclamation mark) next to the heading "出荷時状態に戻す". Below the heading, the text reads: "これで、ワイヤレスネットワークの設定をデフォルト設定に戻します。" (This will restore the wireless network settings to the default settings). At the bottom of this section, there is a button labeled "適用" (Apply).

適用ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス/ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

ファームウェア更新

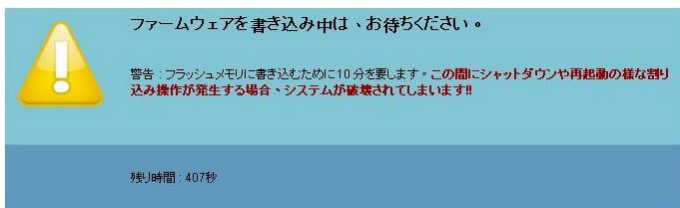
ファームウェアの更新ページを使って、プロジェクトのワイヤレスファームウェアを更新します。



メモ: ファームウェアアップグレードが成功した後、OSDを使ってワイヤレス/ネットワークの無効/有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 参照を押して更新するファイルを選択します。
- 2 アップデートボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。



注意: 更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。

- 3 更新が完了したら、[確認]をクリックします。



プロジェクタのコントロールパネル

DELL

S500wi > システム管理者 > プロジェクタのコントロールパネル

ホーム

再起動

プロジェクト情報

プロジェクトの状態	オン	リフレッシュ
省電力	120分	電源オン 電源オフ
アラート状態	よい	クリア

イメージ制御

操作モード	<input checked="" type="radio"/> 標準モード <input type="radio"/> エコモード
投影モード	フロントプロジェクションデスクトップ
ソース選択	ワイヤレスディスプレイ
ビデオモード	プレゼンテーションモード
何もつっていない画面	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
縦横比	<input checked="" type="radio"/> 元 <input type="radio"/> 4:3 <input type="radio"/> Wide
明るさ	46 (0-100) 設定
コントラスト	50 (0-100) 設定
自動調整	

オーディオ管理

オーディオ入力	ワイヤレスLAN
ボリューム	20 (0-20) 設定
スピーカー	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
出荷時にリセット	

プロジェクト情報

- **プロジェクターの状態**: 次の5つのステータスがあります: ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップ。リフレッシュボタンをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- **省電力**: 省電力は オフ、30分、60分、90分、120分に設定できます。詳しくは、ページ 68の「省電力」を参照してください。
- **アラート状態**: 3つのアラート状態があります: ランプ警告、ランプ寿命の低下、および温度警告。警告が有効になっている場合、プロジェクタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、クリアボタンをクリックして警告状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。

イメージ制御

- **投影モード**: プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。次の4つの投影モードがあります: フロントプロジェクションデスクトップ、フロントプロジェクションシー壁掛け (ウォールマウント)、リアプロジェクションデスクトップ、とリアプロジェクションシー壁掛け (ウォールマウント)。
- **ソース選択**: ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、S ビデオ、コンポジットビデオ、HDMI、無線表示、USB ディスプレイ、USB ビューアを選択できます。
- **ビデオモード**: プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します:
 - **プレゼンテーション**: プレゼンテーションスライドに最適です。
 - **明るさ**: 最大の明るさとコントラスト
 - **映画**: 映画と写真の表示用です。
 - **sRGB**: より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
 - **カスタム**: お好みの設定です。
- **何もうっていない画面**: オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比**: 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**: 値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**: 値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

[自動調整] ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

オーディオ管理

- **オーディオ入力**: 入力ソースを選択します。オプション: オーディオ A、オーディオ B、HDMI、無線/LAN、とマイク。
- **ボリューム**: オーディオボリュームに対して値 (0 ~ 20) を選択します。
- **スピーカー**: **オン**を選択してオーディオ機能を有効にしたり、**オフ**を選択してオーディオ機能を無効にしたりできます。

出荷時にリセット ボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

アラート設定

状態

ネットワークセットアップ

装置セットアップ

パスワードの変更

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトのコントロールパネル

アラート設定

再起動

Eメールアラート

有効 無効

メール警報テスト

宛先

Cc

発信元

件名 S500wi-D33128 Alert

SMTP設定

送信SMTPサーバ

ユーザー名

パスワード

警報条件

ランプ警告

ランプ寿命が短くなっています

ランプ寿命が短くなっています

保存

E メールアラート

- E メールアラート : E メールで通知を受け取るか (有効)、または受け取らない (無効) かを設定できます。
- 宛先 /Cc/ 発信元 : 異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者 (発信元) と受信者 (宛先 /Cc) の E メールアドレスを入力できます。
- 件名 : Eメールの件名を入力できます。

メール警報テストボタンをクリックして、E メールアラート設定をテストします。

SMTP 設定

- 送信 SMTP サーバー, ユーザー名とパスワードはネットワーク管理者または MIS から提供を受ける必要があります。

警報条件

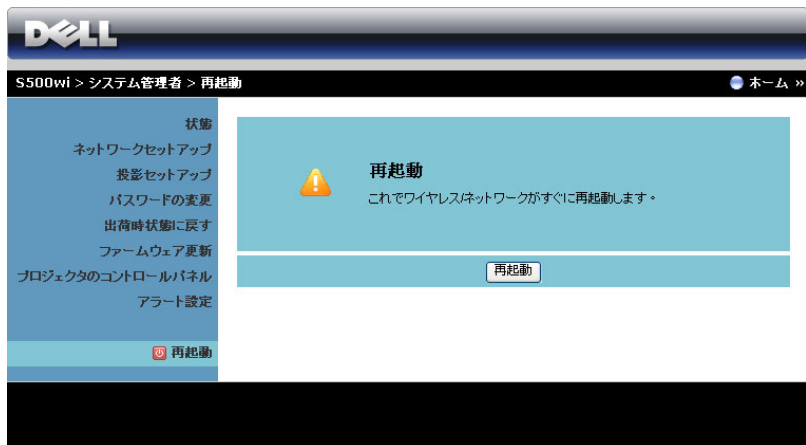
- E メールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、E メールが受信者 (宛先 /Cc) に送信されます。

保存ボタンをクリックして設定を保存します。



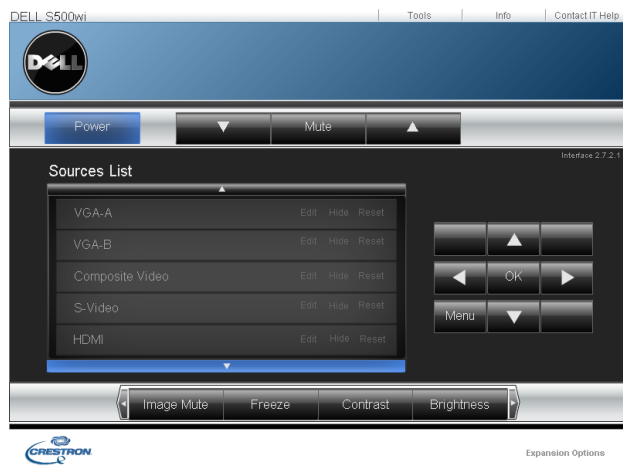
メモ : 電子メールアラートは、デフォルトの 25 ポートを使う標準の SMTP サーバーで機能するように設計されています。暗号化と認証 (SSL または TLS) はサポートしません。

再起動



再起動をクリックすると、システムが再起動します。

Crestron



Crestron 機能の場合。

よくある質問:

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 [コントロールパネル] → [インターネットオプション] → [全般] タブ → [インターネット一時ファイル] → [設定] → 選択 [ページへのすべての訪問者] を順番に開きます。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP: メールサーバー間で E メールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP: 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX: AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 コンピュータ/ノート PC がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ/ノート PC が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして test@dell.com を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、test@dell.com アカウント情報を使用する必要もあります。

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)

Q: Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか？

A: コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

ファイアウォール 設定 保護

McAfee セキュリティセンター

- 1 McAfee セキュリティセンターを起動します ([スタート] > [すべてのプログラム] > [McAfee] > [McAfee セキュリティセンター])。
- 2 [パーソナルファイアウォールプラス] タブで、インターネットアプリケーションリストを表示リストをクリックします。
- 3 リストから Dell S500 または S500wi プロジェクトを検索し、選択します。
- 4 その [許可] カラムを右クリックします。
- 5 ポップアップメニューから [完全アクセスを許可] を選択します。


Norton AntiVirus

- 1 Norton AntiVirus を開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Norton AntiVirus] > [Norton AntiVirus])。
 - 2 [オプション] メニューをクリックしてから、Norton AntiVirus を選択します。
 - 3 [ステータス] ページで、インターネットワーム保護を選択します。
 - 4 プログラムのリストから Dell S500 または S500wi プロジェクトを検索し、選択します。
 - 5 その [インターネットアクセス] カラムを右クリックします。
 - 6 ポップアップメニューから [すべて許可] を選択します。
 - 7 OK をクリックします。
-

ファイアウォール 保護	設定
Sygate パーソナル ファイアウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Sygate パーソナルファイアウォールを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Sygate] > [Sygate パーソナルファイアウォール])。 2 アプリケーションの実行 リストから、Dell S500 または S500wi プロジェクタを検索して右クリックします 3 ポップアップメニューから [許可] を選択します。
Windows ファイア ウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Windows ファイアウォールを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [コントロールパネル])。[Windows ファイアウォール] をダブルクリックします。 2 [全般] タブで、[例外を認めない] のチェックを外します。 3 [例外] タブで、[プログラムの追加] ボタンをクリックします。 4 プログラムのリストから Dell S500 または S500wi プロジェクタを検索し、選択したら、[OK] をクリックします。 5 [OK] をクリックして、例外設定を確認します。
ゾーンアラーム	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [ゾーンラボ] > [ゾーンラボセンター])。 2 [プログラム制御] ページで、リストから Dell S500 または S500wi プロジェクタを検索し、選択します。 3 その [アクセス-信頼] カラムを右クリックします。 4 ポップアップメニューから [許可] を選択します。 5 [アクセス-インターネット]、[サーバー-信頼]、および [サーバー-インターネット] カラムで [許可する] を右クリックし、選択します。

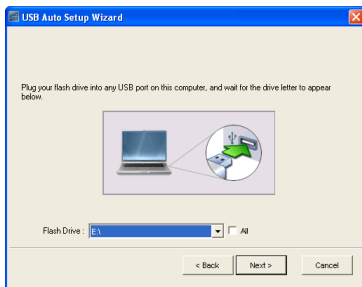
アプリケーショントークンの作成

[アプリケーショントークン]では、USB トークンを使用して [プラグおよび表示] を実行できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアから、 > [アプリケーショントークンの作成] をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、[次へ] をクリックします。



- 4 [終了] をクリックしてウィザードを閉じます。

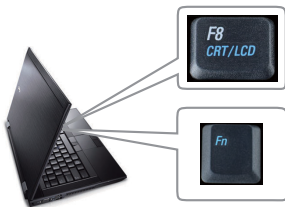


プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください (Dell™ へのお問い合わせはページ 126 をご覧ください)。

問題

画面に画像が表示されない。





解決方法

- [入力ソース]メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ パソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。"プロジェクタの接続" ページ 12 をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください ("ランプの交換" ページ 117 をご覧ください)。
- 詳細設定のプロジェクタ設定メニューのテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。



解決方法 (続き)

- 1 リモコンまたはコントロールパネルの**自動調整**ボタンを押します。
- 2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) に設定します。
 - a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、**プロパティ**をクリックし、**設定**タブを選択します。
 - b 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 ピクセルになっていることを確認します。
 - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。

画面にプレゼンテーションが表示されない。

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく。

OSD **詳細設定の画像設定メニュー**でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

画像に縦線が入る。

OSD **詳細設定の画像設定メニュー**で周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない。

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD **詳細設定の画像設定** タブで信号の種類を RGB に設定してください。
- **詳細設定のプロジェクタ設定メニュー**の**テストパターン**を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (0.489 m ~ 0.655 m ± 0.6 mm)。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の 詳細設定の画像設定 メニューで縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する。	<p>OSD から 詳細設定のプロジェクタ設定 を選択し、プロジェクタモードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする。	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、"ランプの交換" ページ 117 を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯。	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅。	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプが点灯し、電源がオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、[電源] ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度 ライトがオレンジ色で点灯。	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
温度 ライトがオレンジ色で点滅。	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。 電源 ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されません。	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押し続けて OSD のロックを解除します。ページ 65 で メニューロック を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。

対話型ペンのトラブルシューティング

問題 (続き)	解決方法 (続き)
ペンを使用したり接続することはできません。	<ul style="list-style-type: none">• 入力ソースが PC (VGA、HDMI、ワイヤレス、LAN ソース) であるかどうか、確認してください。• 対話型機能がオンになっていることを確認してください。(メニュー -> 詳細設定 -> 対話型設定 -> 対話型)• 接続オプションが正しく設定されていることを確認してください。(メニュー -> 詳細設定 -> 対話型設定 -> 接続)• ワイヤレスまたは LAN 接続を使用していてペンが作動しない場合、ワイヤレス/ネットワーク機能がオンになっているかどうかを確認してください。<ol style="list-style-type: none">1 メニュー -> 詳細設定 -> ワイヤレス/ネットワーク設定 -> ネットワーク2 メニュー -> 詳細設定 -> ワイヤレス/ネットワーク設定 -> ワイヤレス設定• ワイヤレスまたは LAN 接続を使用しているとき、Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアが接続されていることを確認してください。(全画面モード出力のみサポート)。• 電話センサーがスクリーンの方を向いているかどうかを確認してください。• 呼び起こすにはどれかのキーを押します (ニブボタン以外)。
LED が機能しない。	バッテリーが残量がなくなっていないかどうか確認してください。
黄色の LED が点灯する。	バッテリー残量が少なくなっています。対話型ペンのバッテリーを充電してください。
緑の LED が点灯するが、カーソルが動かず、プロジェクタのスクリーンに「USB 接続を検出できません」というメッセージが表示される。	ミニ USB が接続されているかどうか、確認してください。

対話型機能を選択できない。	PC (VGA、HDMI、ワイヤレス、LAN ソース) 入力ソースがあるかどうか、確認してください。
3D ソースでペンを使用できない。	a 3D ソースはサポートされていません。 b 120 Hz の出力信号はサポートされていません。
コンポジットビデオまたは S ビデオソースでは、ペンを使用できない。	コンポジットビデオまたは S ビデオはサポートされていません。
ニブを使用できない。	ニブが摩滅している場合、新しいニブと交換してください。
USB ディスプレイを使用しているとき、ワイヤレス USB 機能を使用できるか?	USB 機能はサポートされていません。

ガイド信号

プロジェクトス テータス	説明	コントロールボタ ン	インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ
ウォームアップ モード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。  メモ: OSD メニューにアクセスしていません。	青色	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ
省電力モード前 の冷却	プロジェクトは、省電力モードになる前に 60 秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ
プロジェクトが 過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35 °C を超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバ が過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ
ファンが故障し ています	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
ランプドライバ が故障していま す	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オレンジ色 点滅
カラーホイール が故障していま す	カラーホイールは始動しません。プロジェクトが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅
ランプが故障し ています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供 給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュ ールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色 点滅

対話型ペン LED 誘導信号

ペンステータス	説明	インジケータ		フローとアイテム/時間のチェック
		緑色	オレンジ色	
通常モード 1	ペンはスクリーンを向いて、リンクされています。	オンで点灯	オフ	
通常モード 2	ペンは画面を向いていないが、リンクされています。	0.02 秒オン / 1 秒オフで点滅	オフ	3 分後にスリープモードに入ります。
Open (開) ネットワークモードの検索	ペンが開ネットワークを選択しているとき (緑の LED が、2 秒おきに 2 回点滅)。ニブと機能ボタンを 5 秒間押し下げると、ペンはこのモードに変わります。	0.1 秒オン / 0.1 秒オフおよび 0.1 秒オン / 1.7s 秒オフで点滅	オフ	ペンがプロジェクトと正常にペアリングできない場合、ペンは 3 分後にスリープモードに入ります。
Fixed (固定) ネットワークモードの検索	ペンが固定ネットワークを検索しているとき。	0.3 秒オン / 0.3 秒オフの点滅	オフ	ペンがプロジェクトと正常にペアリングできない場合、ペンは 3 分後にスリープモードに入ります。
ペアリングモード	機能ボタンを 5 秒間押し下げると、緑の LED が 0.15 秒おきに 1 回点滅します (10 秒間継続)。	0.15 秒オン / 0.15 秒オフの点滅	オフ	ペンがプロジェクトと正常にペアリングできない場合、ペンは 10 分後にペア失敗モードに入ります。
ペアリング成功モード	ペアリングモードの後でペンが正常にプロジェクトとペアリングするとき (緑とオレンジの LED が 3 秒間ずつ交互に点滅します)。	0.3 秒オン / 0.3 秒オフの点滅	0.3 秒オフ / 0.3 秒オンの点滅	ペアリングモードに入り、10 秒後に正常にペアリング
ペアリング失敗モード	ペアリングモードの後でペンがプロジェクトとのペアリングに失敗すると (緑とオレンジの LED が 3 秒間同時に点滅します)。	0.3 秒オン / 0.3 秒オフの点滅	0.3 秒オン / 0.3 秒オフの点滅	ペアリングモードに入り、10 秒後にペアリングに失敗
スリープモード	省電力の目的でスリープモードに入ります。	3 秒間オンで点灯	3 秒間オンで点灯	1. ペンはスクリーンを向いていないが、リンクされている。3 分後にスリープモードに入ります。 2. リンクなしで AP チャンネルを 3 サイクル検索すると、スリープモードに入ります。
バッテリー残量残り僅か機能	ペンのバッテリー残量が残り僅かになっています。2 時間後、バッテリーは完全に残量がなくなります。	オフ	0.1 秒オン / 1 秒オフの点滅	MSP430 は、通常の操作でバッテリー機能をチェックします。バッテリー残量が低下している場合、このアラート LED 信号が表示されます。
バッテリーが完全になくなり、PB を実行できない。	写真センサーと RF モジュールが適切に作動できません。ペンが正常に機能できません。	オフ	オンで点灯	ペンのバッテリー残量がなくなっています。電源は MSP430 でのみ適用されます。アラート LED は省電力のために 1 分間表示され、その後スタンバイモードに入ります。このステータスでペンを使用することはできません。
バッテリー残量が低下したためバッテリーを充電中	ペンを充電器の上に置くと、ノート PC により USB ケーブルに接続します	該当なし	オンで点灯	
バッテリーがいっぱいになるときにバッテリーを充電	ペンを充電器の上に置くと、ノート PC により USB ケーブルに接続します	該当なし	オフ	

ランプの交換

△ **注意**：この章で説明する交換処理の前に、ページ 10 にある「安全上のご注意」をお読みください。

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。「ランプのフルパワー操作での耐用期間がもうすぐ終了します。」ランプを交換します。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。詳しくは、「Dell™ へのお問い合わせ」ページ 126 をご覧ください。


△ **注意**：オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

△ **注意**：ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

△ **注意**：電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ **注意**：ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。


- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 1 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 1 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。


 **メモ**：Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 1 本のネジを締めます。
- 9 OSD 詳細設定メニューの電源設定の Lamp Reset で「Yes」を選択してランプ使用時間をリセットします（ページ 68 の「詳細設定」メニューの電源



設定を参照してください)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。

 **注意：ランプの廃棄（米国のみ）**

 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、WWW.DELL.COM/HG、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

仕様

ライトバルブ	0.65" WXGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	3200 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2300:1 標準 (フルオン/フルオフ)
均質性	80% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1280 x 800 (WXGA)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2 X 1 X (3D ディスプレイの場合)
投影レンズ	F ストップ : F/2.71 有効焦点距離 = 4.415 mm @ 87.2 画面サイズ 固定 投影比 = 0.3 ワイドおよび望遠
投影画面サイズ	77-100 インチ (対角)
投影距離	0.489 m ~ 0.655 m ± 6 mm (1.60 ~ 2.15 ± 0.02 フィート)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L) コンポーネントビデオ (VGA & HDMI 経由) 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 100-240 50-60 Hzz、PFC 入力 付き

消費電力

通常モード：345 W ± 10% @ 110 Vac
(ネットワークオン)

エコモード：320 W ± 10% @ 110 Vac
(ネットワークオン)

省電力モード：<10 W (ワイヤレスとネット
ワークオン)

スタンバイモード：<0.5 W (ネットワーク
オフ、VGA_OUT オフ、ワイヤレ
スオフ)

オーディオ

スピーカー x2、5 W RMS

ノイズレベル

34 dB(A) ノーマルモード、31 dB(A) エコモード

プロジェクタの重量

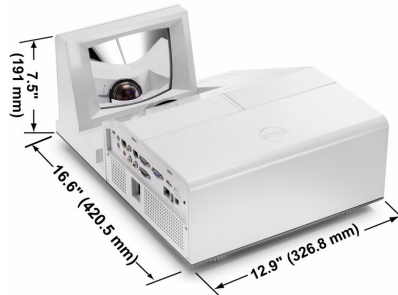
7.08 kg ± 0.02 kb

ペンの重さ

60 g (リチウムイオンバッテリー付き)

プロジェクタ寸法
(幅 x 高さ x 奥行)

12.9 x 7.5 x 16.6 インチ (326.8 x 191 x 420.5 mm)



対話型ペンの寸法
(幅 x 高さ x 奥行)
S500wi 専用

0.88 x 0.94 x 6.66 インチ (22.46 x 23.79 x 169.17
cm)



環境条件

動作温度 : 5 °C ~ 35 °C

湿度 : 80% 最大

保管温度 : 0 °C ~ 60 °C

湿度 : 90% 最大

輸送温度 -20 °C ~ 60 °C

湿度 : 90% 最大

I/O コネクタ

電源 : 1 つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット)

VGA 入力 2 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/コンポーネント入力信号用)

VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。

S ビデオ入力 : 1 つの標準 4 ピン ミニ -DIN S ビデオコネクタ (Y/C 信号用)。

コンポジットビデオ入力 : 1 つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用)

HDMI 入力 : 1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。

アナログオーディオ入力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (青) & 1 対の RCA コネクタ (赤/白)。

可変オーディオ出力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (緑)。

USB (タイプ A) ポート : 写真/PtG ビューア用 USB コネクタ x1 (JPG/PPT 形式)

USB (タイプ B) ポート : 1 つの USB リモートサポートと対話型ペン用のミニ USB スレーブ (S500wi 専用) および USB ディスプレイサポート用の 1 つの USB コネクタ。

RS232 ポート : ミニ -DIN 6 ピン (x1) (RS232 通信用)。

RJ45 ポート : 1 つの RJ45 コネクタ (ネットワークと LAN ディスプレイを経由したプロジェクトのコントロール用)

マイク : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (ピンク)。

12 V 出力 : 1 つの 12 V DC / 200 mA 最大。リレースルーブット (自動画面の駆動用)。

ワイヤレスドングル

ワイヤレス標準 : IEEE802.11b/g/n

ワイヤレス : ワイヤレスドングルをサポートするための 1 つの WiFi USB (タイプ A) コネクタ

OS 環境 : Windows 7/Vista/XP/2000、MAC OS X

サポート : プレゼンテーションスライドとプロジェクタ制御。

同時に 30 人までのユーザーに接続できます。

4-to-1 分割画面。画面に 4 つのプレゼンテーションスライドを投射します。

会議制御モード。

オーディオ投影のサポート (特別なドライバをインストールする必要性あり)

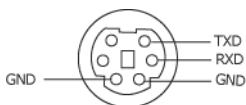
ランプ

Philips 280 W ワットユーザ交換可能ランプ (エコモードで最大 3000 時間)



メモ : プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート	19,200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクトへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例: 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください:
Support.dell.com.


互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 x 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 x 900	84.842	80.430	157.000
1600 x 1200	60.000	75.000	162.000

800 x 600	119.972	76.302	73.250
1024 x 768	119.989	97.551	115.500
1280 x 720	120.000	101.563	146.250

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。

 **メモ:** インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ:

- 1 [Support.dell.com](https://support.dell.com) をご覧ください。
- 2 ページ下部の **国 / 地域** の **選択** ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 ページ左側の **連絡先** をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 Dell への連絡方法を選択します。

eInstruction へのお問い合わせ

eInstruction では、電話およびオンラインの技術サポートオプションをご用意しています。購入可能かどうかは国によって異なりますが、techsupport@einstruction.com に電子メールをお寄せいただければどの国のユーザーの方にも適切にご返事いたします。

USA eInstruction ソフトウェア技術サポート

電話番号 : 480-443-2214 または 800-856-0732

電子メール : Techsupport@einstruction.com

International eInstruction ソフトウェア技術サポート、EMEA

電話番号 : +33 1 58 31 1065

電子メール : EU.Support@einstruction.com

Web での技術サポートは、

www.einstruction.it でご利用いただけます (米国の場合)

www.einstruction.de でご利用いただけます (ドイツ)

www.einstruction.fr でご利用いただけます (フランス)

www.einstruction.it でご利用いただけます (イタリア)

www.einstruction.es でご利用いただけます (スペイン)

付録：用語集

ANSI ルーメン — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度 — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

コンポーネントビデオ — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンポジットビデオ — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比 — 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン/ オフ — 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 フィート高、12 フィート幅のスク

リーンの対角は 15 フィートです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DHCP — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP[®] — Digital Light Processing[™] (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD — digital Micro-Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DNS — ドメイン名システム — ドメイン名を IP アドレスに変換するインターネットサービス。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

DHCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI や HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel[™] が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

IEEE802.11 — ワイヤレス LAN (WLAN) 通信用の標準セット。802.11b/g は 2.4 GHz 帯域を使用します。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることでできる最小距離。

NTSC — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL — Phase Alternating Line（走査線位相反転）。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB — Red, Green, Blue（赤、緑、青） — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

S ビデオ — 4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス（明るさ、Y）とクロミナンス（色、C）と呼ばれる2本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

SECAM — ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SSID — サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

SVGA — Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ） — 800 x 600 ピクセル。

SXGA — Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ） — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA — Ultra Extended Graphics Array（超拡張グラフィックスアレイ） — 1600 x 1200 ピクセル。

VGA — Video Graphics Array（ビデオグラフィックスアレイ） — 640 x 480 ピクセル。

WEP — 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

XGA — Extended Video Graphics Array（拡張ビデオグラフィックスアレイ） — 1024 x 768 ピクセル。

WXGA — Wide Extended Graphics Array（ワイド拡張グラフィックスアレイ） — 1280 x 800 ピクセル。

ズームレンズ — 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

ズームレンズ比 — レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの10フィート画像が、フルズームでは14フィートになることを意味します。

索引

D

Dell への

お問い合わせ 126

Dell へのお問い合わせ 7, 112,
117

お

オンスクリーンディスプレイ 51

オーディオ入力 54

ビデオモード 53

ヘルプ 73

ボリューム 54

メインメニュー 51

言語 72

自動調整 52

詳細設定 54

入力ソース 51

入力ソースの複数ディスプレイ 52

明るさ / コントラスト 53

こ

コントロールパネル 34

さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 126

と

トラブルシューティング 109

Dell へのお問い合わせ 109

ふ

プロジェクタのズームとフォーカスの調整 31

フォーカスリング 31

プロジェクタの接続

HDMI ケーブル 23, 24, 26

HDMI ケーブルでの接続 23

RS232 ケーブル 17

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 17, 18

S ビデオケーブルでの接続 20

S ビデオケーブル 20

USB - USB ケーブル 15

USB-A - USB-B ケーブル 18

VGA - VGA ケーブル 15, 16

VGA - YPbPr ケーブル 22

コンピュータへ 15

コンポーネントケーブルでの接続 22

コンジットケーブルでの接続 21

コンジットビデオケーブル 21

電源コード 15, 16, 17, 18, 20,
21, 22, 23, 24, 25, 26

プロジェクタの電源を入れる /

切る

プロジェクタの電源を切る 29

プロジェクタの電源を入れる

29

ら

ランプの交換 117

り

リモコン 36

IR レシーバ 34

仕様

I/O コネクタ 121

RS232 プロトコル 123

オーディオ 120

カラーホイール速度 119

コントラスト比 119

ノイズレベル 120

ビデオ互換性 119

ライトバルブ 119

画素数 119

環境条件 121

均質性 119

質量 120

消費電力 120

寸法 120

電力供給 119

投影レンズ 119

投影画面サイズ 119

投影距離 119

表示可能な色 119

明るさ 119

接続ポート

+12V DC アウトコネクタ 12

HDMI コネクタ 12

RJ45 コネクタ 12

RS232 コネクタ 12

S ビデオコネクタ 12

USB タイプ A ビューアコネク
タ 12

USB タイプ B ディスプレイコ
ネクタ 12

VGA-A 出力 (モニターループ
スルー) 12

VGA-A 入力 (D サブ) コネク
タ 12

VGA-B 入力 (D サブ) コネク
タ 12

オーディオ -A 入力コネクタ
12

オーディオ -B 右チャンネル入
力コネクタ 12

オーディオ -B 左チャンネル入
力コネクタ 12

コンポジットビデオコネクタ
12

セキュリティケーブルスロッ
ト 12

セキュリティバー 12

マイクコネクタ 12

リモートマウス用ミニ USB、
対話型機能およびファーム
ウェアアップグレード。
12

電源コードコネクタ 12

対話型ペン

LED インジケータ 10

- コントロールパネル 10
- ファームウェアアップグレードコネクタ 10
- ミニ USB 充電コネクタ 10
- リストストラップホルダ 10
- レンズ 10
- 交換用ニブ 10
- 電源スイッチ 10
- 対話型ペンと接続する
 - 12 V DC プラグ 27
 - USB-A - ミニ USB-B ケーブル 27
 - VGA - VGA ケーブル 27
 - 対話型ペン 27
 - 電源コード 27
 - 電動式投影画面 27
- 電話番号 126
- 投影画像の調整 30
 - プロジェクタの高さ調整 30
 - プロジェクタを下げる
 - 傾斜調整ホイール 30
- 本体 9
 - IR レシーバ 9
 - コントロールパネル 9
 - フォーカスタブ 9
 - ランプカバー 9
 - レンズ 9